

第2次沖繩市観光振興基本計画

令和4年3月

沖繩市

目次

第1章	はじめに	1
1	計画策定の目的	1
2	計画の期間	2
3	計画体系と位置づけ	2
第2章	沖縄市の観光振興を取り巻く状況	3
1	観光に関する社会動向および沖縄県における観光の現状と課題	3
(1)	コロナ禍からの観光回復の動向	3
(2)	持続可能な観光推進への動き	4
(3)	デジタル技術の活用	4
(4)	沖縄県の観光客の推移	4
2	沖縄市の観光にかかる現状と課題	5
(1)	沖縄市の概要	5
(2)	沖縄市の観光資源	6
(3)	観光の動向	8
(4)	観光客の動態	11
(5)	沖縄市の観光客満足度、評価	16
(6)	市民による観光振興への意向	17
3	沖縄市観光振興基本計画の評価	23
(1)	「沖縄アリーナの活用」	23
(2)	I C T活用	24
(3)	バリアフリー観光の推進	26
(4)	施策の基盤となる統計調査および計画の評価の実施	27
(5)	これまでの施策、現状、課題から考える沖縄市観光の方向性	29
第3章	基本方向	32
1	重点目標／観光が目指すビジョン	32
2	観光振興のあり方	32
I	魅力的な観光資源を生かした観光振興	32
II	社会情勢の変化に対応した観光振興	32
III	戦略的な地域マネジメントによる観光振興	32
3	本計画が目指す目標	33

第4章 施策展開	34
I 魅力的な観光資源を生かした観光振興.....	34
①スポーツツーリズム／スポーツコンベンションの推進.....	34
②特色ある文化の価値醸成および誘客促進.....	35
③中心市街地の活性化.....	35
④観光資源の魅力向上.....	36
⑤産業連携による付加価値向上.....	37
II 社会情勢の変化に対応した観光振興	38
①新たな生活様式に対応した観光振興.....	38
②観光DXの推進によるサービス変革.....	38
③観光危機管理による安全・安心な観光地形成	39
III 戦略的な地域マネジメントによる観光振興	39
①統計データを踏まえた観光振興	39
②観光関連産業の持続的な発展促進.....	40
③周辺自治体との広域連携	40
④観光環境の基盤整備.....	41
第5章 ロードマップ	42
I 魅力的な観光資源を生かした観光振興.....	42
II 社会情勢の変化に対応した観光振興	62
III 戦略的な地域マネジメントによる観光振興	68
第6章 計画の推進に向けて	78
1 各主体の役割分担	78
2 計画の推進体制	79
資料編.....	80
計画策定経緯	80
答申文	81
沖縄市観光振興委員会	83
設置規程	83
委員会委員	84
策定委員会	85
設置要綱	85
ワーキンググループ	87
設置要綱	87
ワーキンググループ委員	88

1 計画策定の目的

沖縄県において、リーディング産業として観光リゾート産業が位置づけられ（沖縄 21 世紀ビジョン基本計画【改定計画】：平成 29 年 5 月沖縄県）、「沖縄観光ブランド」の確立を目指されており、平成 30 年度には入域観光客数が 1,000 万人を超えるなど、県内の観光産業は成長している状況となっていました。しかしながら、令和 2 年から世界的な新型コロナウイルス感染症拡大により、入域観光客が減少に転じ、令和 2 年度は 258 万人となっています。

沖縄市は、沖縄本島の中央部に位置し、米国や中国、南米等の多くの外国籍市民が居住し、国際色豊かなまちです。エイサーをはじめ、ジャズやロック、民謡等の伝統文化と異文化が融合した戦後沖縄の文化でも、ひと際特徴的なコザ文化が醸成され、沖縄の戦後文化をリードしてきました。

沖縄市の取り組みについては、昭和 49 年に「国際文化観光都市」の宣言をおこない、本市の特色を生かしたまちづくりをすすめています。また、観光振興においては、これまでに「沖縄市観光戦略プラン」（平成 24 年度～平成 28 年度）、そして「沖縄市観光振興基本計画」（平成 29 年度～令和 3 年度）を策定し、本市が有する地域資源を活かして観光振興に資する施策を推進しています。

沖縄市の観光産業の動向については、平成 30 年度までは延べ宿泊者数やスポーツ関連の来訪者数が増加傾向となっていました。令和元年度より新型コロナウイルス感染症の影響により減少に転じています。

このような状況のなか、沖縄市の魅力向上と認知度向上を図るとともに、ウィズコロナ・アフターコロナに向け、社会情勢の変化に対応や安全・安心・快適な観光地づくりをすすめていく必要があります。

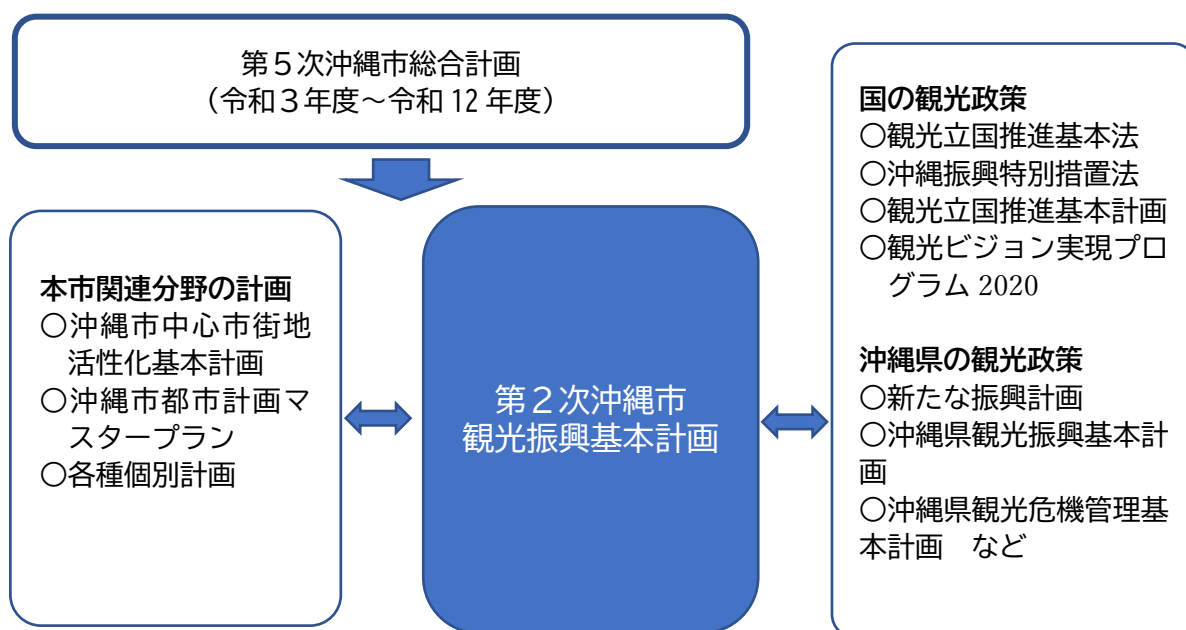
第 5 次沖縄市総合計画（令和 3 年度～令和 12 年度）に掲げた「世界にひらき 活力あふれる 国際文化観光都市」の実現を目指すとともに、計画的かつ効率的に観光振興を図ることを目的として、第 2 次沖縄市観光振興基本計画を策定します。

2 計画の期間

本計画の計画期間は、令和4年度（2022年度）から令和8年度（2026年度）までとします。

3 計画体系と位置づけ

上位関連計画や関連法令の内容を踏まえ、整合を図りながら本計画を策定します。



1 観光に関する社会動向および沖縄県における観光の現状と課題

観光庁の「旅行・観光消費動向調査」によると、2019年における国民一人あたりの年間国内宿泊旅行回数は1.4回、宿泊数は2.3泊となり、中長期的には漸増傾向または横ばいとなっており、2020年は新型コロナウイルス感染症の流行を受け、それぞれ1.2回、0.73泊と大幅に減少しています。

日本政府観光局（JNTO）によると、訪日外国人観光客数は、2019年には過去最高の3,188万人を記録しています。しかしながら、2020年は新型コロナウイルス感染症流行による渡航制限等により411万人（前年比87.1%減）と大きく減少しています。

また、観光庁の「訪日外国人消費動向調査」によると、訪日外国人旅行消費額は、2011年から2019年にかけて8年連続で増加し、2019年には過去最高の4兆8,135億円に達しています。2020年の訪日外国人旅行消費額は7,446億円（前年比84.5%減）と試算されています。

そのような状況において、国内外、県内の観光に関する新たな動向を以下に整理します。

（1）コロナ禍からの観光回復の動向

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行による観光産業への影響について、国連世界観光機関（UNWTO）¹によると2020年の国際観光客到着数は3億9,400万人（前年比73.1%減）と大幅に減少する大きな影響を受けています。

観光需要の回復に向けては、ワクチン接種の開始により、渡航制限の緩和や撤廃、消費者意欲が高まることが期待されます。国連世界観光機関（UNWTO）において、国際観光客については、2年半から4年後に回復すると見込まれています。

感染拡大防止策を徹底し、国内旅行の需要喚起を図るとともに、働き方が多様化していることも踏まえ、仕事と休暇を組み合わせた滞在型旅行（ワーケーション）等の普及による旅行市場の拡大等が重要になります。また、本格的なインバウンド（外国人観光客）の回復に向け、国内外の観光客を惹きつける滞在コンテンツの充実、受入環境整備をすすめるなど、国内外の感染状況に注視し、インバウンドの段階的な受入れを目指すことが重要になります。

¹ 国連世界観光機関：観光の分野における主要な国際機関。経済成長、包摂的発展、環境の持続性を達成する推進力として観光を促進し、知識や観光政策を進める部門を指導、支援している。1975年に設立され、2003年に国連の専門機関となった。

(2) 持続可能な観光推進への動き

国連世界観光機関（UNWTO）は、「持続可能な観光」について「訪問客、産業、環境、受入地域の需要に適合しつつ、現在と未来の経済、社会、環境への影響に十分配慮した観光」とし、「環境、経済、地域社会の3つの側面で適切なバランスが保たれることが重要」とされています。海外の市場では、持続可能な観光のニーズが高まっており、世界大手の宿泊予約サイト「Booking.com」によって2019年に実施された調査によると、世界の旅行者のおよそ4分の3（72%）が「次世代のために地球を守るには、人々は今すぐ行動しサステナブル²な選択をおこなう必要がある」と回答しています。

このような状況の中で、旅行・観光のあり方が変化しており、いわゆる観光地での囲い込みから、地域の生活の場を体験し、地元の方と交流することを求める旅行や、暮らすように旅する、地域を良くするための手助けになることを求める傾向もあります。障がい者や高齢者等の支援を必要とする観光客が制約を感じずに参加できる旅行や、LGBT³フレンドリー⁴をアピールするなど、ユニバーサルツーリズム⁵もすすめられています。国において「持続可能な観光推進本部」を新たに設置し、今後の取り組みの方向性として、適切な観光地経営の導入を通じて、地域社会における経済利益や旅行者・コミュニティ・文化資源・環境に対する利益の最大化、悪影響の最小化を実現することを目指しています。

また、これら持続可能な観光推進への動きは、SDGsのすべての分野へ貢献するものです。

(3) デジタル技術の活用

観光の分野において、AIやビッグデータ等の技術を活用したマーケティング、自動運転やキャッシュレス、新たな観光スタイルとしてのリモートツアーの取り組みなど、産業としての高度化・高付加価値化を目指す取り組みがすすめられています。

(4) 沖縄県の観光客の推移

沖縄県の観光要覧ならびに入域観光客統計概況によると、沖縄県の入域観光客数は昭和47年度（1972年度）の55万8,593人から平成30年度（2018年度）には1,000万4,300人となり、初めて1,000万人を突破し、順調にその数を伸ばしてきました。

しかし、令和2年から世界中で流行している新型コロナウイルス感染症の影響により、観光産業は非常に困難な状況下にあり、令和2年度の入域観光客数は258万人で昭和63年度（1988年度）と同等の数値となっています。

² サステナブル：sustain（持続する）とable（可能である・～できる）が組み合わさった言葉。「持続可能な」「ずっと続けていける」といった意味がある。

³ LGBT：性的指向や性自認を表す「Lesbian（レズビアン）」、「Gay（ゲイ）」、「Bisexual（バイセクシャル）」、「Transgender（トランスジェンダー）」の頭文字を組み合わせた言葉で、性的少数者（セクシャルマイノリティ）を表す言葉の一つとして使われる。

⁴ LGBTフレンドリー：先に説明したLGBTの人々に対して温かく開かれた状態であること。

⁵ ユニバーサルツーリズム：すべての人が楽しめるように創られた旅行のこと。高齢や障がい等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できることを目指そうとするもの。

2 沖縄市の観光にかかる現状と課題

(1) 沖縄市の概要

沖縄市は、沖縄本島の中央部に位置し、県都那覇市から北東約 20 km の距離にあります。

総面積 49.72 km² で、市域の約 9 割は標高 100m 以下の地域で、中城湾に面する東海岸部から斜面地域が連坦しながら、西北部の丘陵域へと広がっています。

市域の北部はうるま市・恩納村、南部は北谷町・北中城村、西部は嘉手納町・読谷村に接し、南東は中城湾に面しています。

北部地区は、丘陵地が広く卓越し、台地・段丘が複雑に分布する地形をなし、多くを米軍施設によって占められています。中部地区は、斜面地となだらかな傾斜で、国道 330 号と国道 329 号が交わるコザ十字路を中心に全域が用途地域となっています。東部地区は、大部分が海岸低地からなり、斜面を経て丘陵部へと移行する地形で構成されており、近年市街化が進行しています。西部地区は、戦後、胡屋十字路周辺を中心に、米軍基地の門前町・基地の街として発展を遂げてきた地域で、市域の中心地になっています。



沖縄市の人口は、平成 27 年（2015 年）の国勢調査において 139,279 人となっており、5 年間で 9,030 人増、人口増減率は 6.9%、増減数で見ると県内 1 番目の人口増となっています。

また、労働力人口は 53,861 人、就業者人口は 49,997 人となっており、産業別就業者数の割合は、第三次産業が 82.1% と最も高く、第二次産業は 16.6%、第一次産業は 1.3% となっています。中でも卸売・小売業、サービス業、医療・福祉が高い比率を占めています。

沖縄市は第二次世界大戦後、米軍基地の門前町・基地の街として発展を遂げ、地域の伝統文化にアメリカ文化や移住者の文化等が融合し、特異な文化風土が形成されました。

特に、エイサーや沖縄民謡等の民俗芸能に加えて、ジャズ、オキナワロック等の海外音楽が盛んとなっており、欧米・中南米・アジア等の食文化も多彩で、市内には様々な国と地域の料理店があります。

国際色豊かな風土と個性的な文化は、「国際文化観光都市」の実現を目指す本市の貴重な資源であり、まちづくりの重要な財産となっています。

自然環境については、北部の嶽山原（たきやまぼる）と呼ばれる地域には、沖縄本島北部のような豊かな森が広がり、倉敷ダムや知花グスク周辺にも自然の林や森が残されています。また、比謝川流域では水棲植物や動物を見ることができ、中城湾の泡瀬干潟には多様な海辺の動植物が生息しており、沖縄有数の渡り鳥の飛来地となっています。

(2) 沖縄市の観光資源

本市には、エイサーをはじめとする個性的な文化、まつりやイベント、スポーツ、商店街等の特徴的な地域資源があります。沖縄市の観光資源を下記に整理します。

①主な観光資源の特徴

○スポーツ

本市は平成8年(1996年)に「スポーツコンベンションシティ」を宣言し、これまで、活気と共感に満ちたスポーツ交流のまちづくりを推進してきました。市内にはコザ運動公園(沖縄市立総合運動場)、沖縄県総合運動公園といったスポーツ施設を有しており、新たに令和3年3月には県内外を魅了するエンターテインメントの拠点施設となる沖縄アリーナが供用を開始するなど、恵まれたスポーツ環境があります。

また、プロ野球チーム「広島東洋カープ」の春季キャンプをはじめ、プロアマ問わず数多くのスポーツ選手がトレーニング・キャンプに訪れます。プロサッカーチームの「FC琉球」やプロバスケットボールチームの「琉球ゴールデンキングス」は、本市をホームタウンとし、プロバレーボールチームの「パナソニックパンサーズ」は、本市をサブホームタウンとしており、各スポーツのシーズンには、本市で迫力あるプロスポーツの試合が観戦できます。また、毎年2月に開催される「おきなわマラソン」は、県内外から多くのランナーが参加するスポーツイベントとなっています。

さらに、本格サーキットである(仮称)沖縄サーキットの実現に向け、「KOZA MOTOR SPORT FESTIVAL」を開催するとともに、令和3年度にはモータースポーツマルチフィールド沖縄が供用を開始するなど、モータースポーツの振興を図っています。また、近年注目され始めたeスポーツを活用した地域活性化に向け、取り組んでいます。

○コザ文化

本市は、戦後、米軍基地の門前町として、内外から人が集まり、伝統文化と異文化が融合した個性的な文化が培われてきました。

特徴的な文化の一つに沖縄を代表する伝統芸能のエイサーがあり、沖縄全島エイサーまつりについては、30万人以上を集客するイベントになっています。

平成19年(2007年)には「エイサーのまち宣言」をおこなうとともに、平成30年には、エイサーに関する歴史や文化を学べる体験型施設エイサー会館が供用を開始しました。

沖縄市の戦後史を学ぶことができる沖縄市戦後文化資料展示館「ヒストリート」は、平成30年にリニューアルし、戦時中から戦後の写真や生活道具の展示、当時の沖縄市関連資料が閲覧できる貴重な展示館となっています。

○県内有数の観光施設

県内最大規模のエンターテインメント施設「沖縄アリーナ」、県内唯一の本格的な動物園である「沖縄こどもの国」、熱帯・亜熱帯植物や全国的に評価されている夜景イルミネーションが鑑賞できる「東南植物楽園」を有するとともに、今後、部分使用が予定されている東部海浜開発地区(潮乃森)の県内最大級となる900mのロングビーチなど、豊富な観光施設を有しています。

○中心市街地

本市の中心市街地には、戦後の米軍基地の門前町として栄えた独特の雰囲気が残る街並みと、プラザハウスショッピングセンター等の商業施設やライブハウスなど、多彩な集客施設を有しています。本市は、中心市街地の活性化に向け、魅力ある店舗の創出や空き店舗の解消を図るとともに、組織力強化等に取り組んでいます。

○ナイトコンテンツ

沖縄市は、グルメや音楽といった夜の観光コンテンツが充実しています。

沖縄らしさを感じられる民謡酒場や卓越した演奏技術で賑わうライブハウス等の人気が高く、夜のエンターテインメントを楽しむため、多くの人が集まります。

○土産品・特産品

「知花花織」は国指定伝統的工芸品であり、模様が経方向に連続して浮く経浮（たてうき）花織と、刺しゅうのように糸が浮く縫取（ぬいとり）花織が特徴です。「コザ工芸館 ふんどう」では知花花織をはじめとする市内の工房の工芸品を展示・販売しています。

沖縄市トップブランドとして認定された「コザスター」、優れた地域資源として推薦・選定された「コザチョイス」の商品も沖縄市の地域ブランドとなっています。

「JAおきなわ中部ファーマーズマーケット ちゃんぷる～市場」では地域の農畜産物を、「沖縄市漁業協同組合 パヤオ直売店」では近海のさまざまな海産物を扱っています。

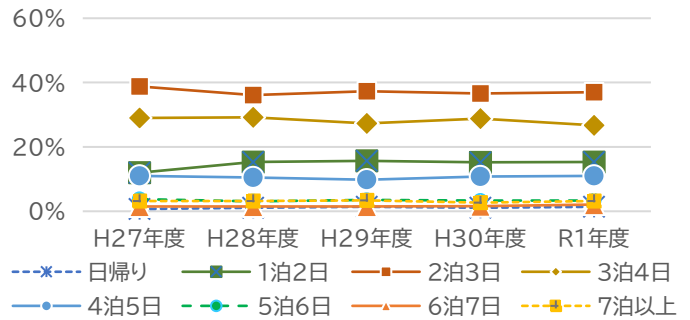
(3) 観光の動向

【滞在日数】

①滞在日数（県市比較）

・沖縄県における国内客の滞在日数

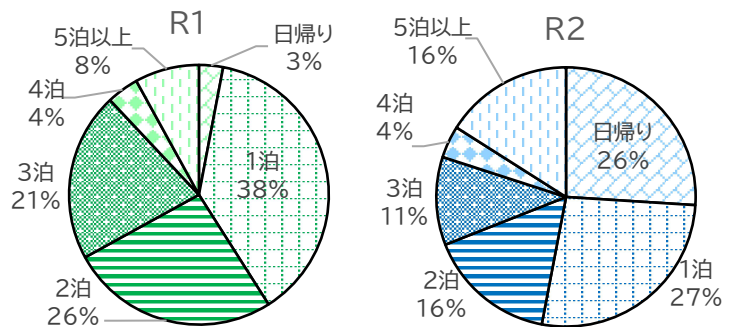
「2泊3日」が約40%弱で最も高い割合を占めており、次いで「3泊4日」が約30%、「1泊2日」が約15%と安定して推移しています。



出典：観光統計実態調査(沖縄県)をもとに作成

・沖縄市における国内客の滞在日数

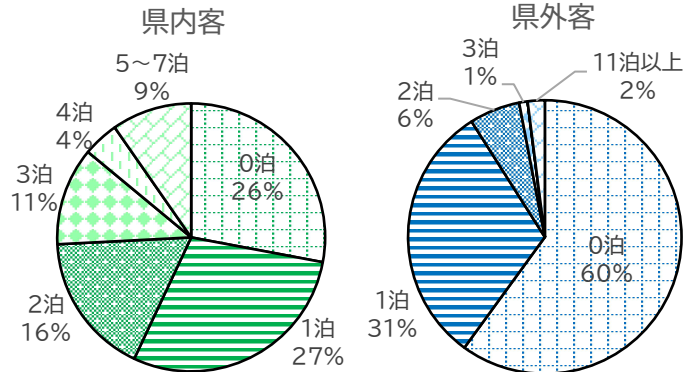
令和元年度(左図)の沖縄市における国内客は1泊が最も多く、38%を占めています。令和2年度(右図)に沖縄市に訪れた国内客は日帰りが26%、1泊が27%となっています。



出典：令和2年度WEBアンケート調査(沖縄市) 令和元年度WEBアンケート調査(沖縄市)

②沖縄市での宿泊日数（令和2年度）

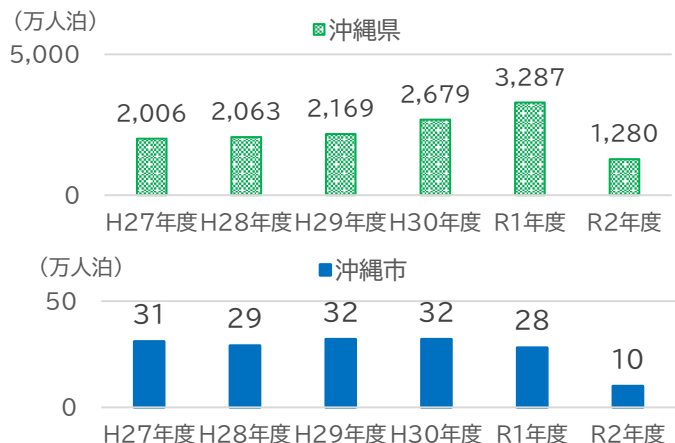
沖縄市を訪れた観光客の市内の宿泊日数は、県内からの旅行者については0泊が最も多く60%、次いで1泊が31%となっています。県外からの旅行者については1泊が最も多く27%、次いで0泊が26%となっています。



出典：令和2年度沖縄市観光統計調査業務報告書をもとに作成

③延べ宿泊者数（県市比較）

沖縄市における延べ宿泊者数は、平成30年まで増加傾向にありました。沖縄県全体においては、令和元年まで増加してきたのに対し、本市では平成30年をピークに、令和元年から減少、令和2年では大きく減少しています。

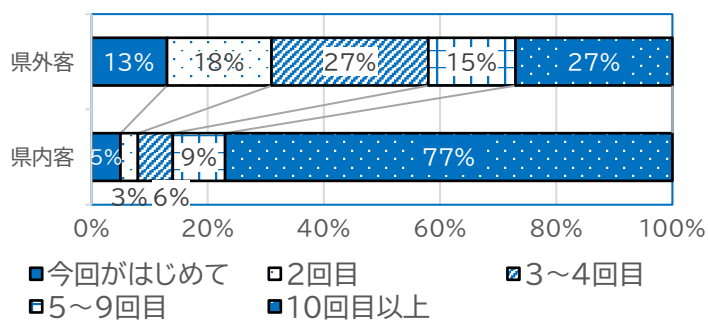


出典：沖縄県は宿泊旅行統計調査(観光庁)より 沖縄市は沖縄市観光スポーツ振興課より

④来訪回数（県市比較）

・沖縄市への来訪経験（今回含む）

県内旅行者は、10 回目以上が最も多く 77%、次いで 5～9 回目が 9% となっています。一方、県外旅行者は、10 回目以上と 3～4 回目が最も多く 27%、次いで 2 回目が 18% となっており、初回来訪者は 13%、リピーターは 87% となっています。



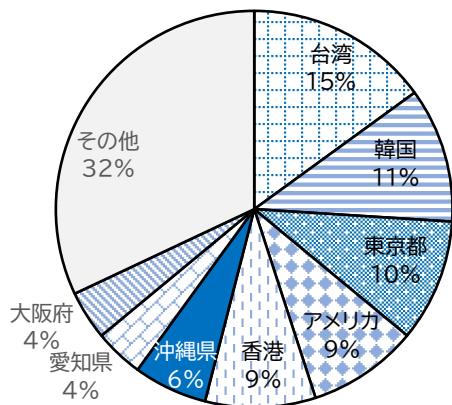
出典：令和2年度沖縄市来訪者 WEB アンケート調査

⑤延べ宿泊者数の居住地別の割合

新型コロナウイルス感染症の影響による第1回緊急事態宣言期間（令和2年4月7日発出）を含む4-6月をみると、令和元年では台湾、韓国等の海外客が主要であるのに対し、令和2年は海外客が大幅減（ほぼ皆減）となっています。県外客も同様に大幅減となり、県内客の割合が増加しています（県内客の割合はほぼ一定）。東京都は渡航自粛のため福岡県が首位となっています。

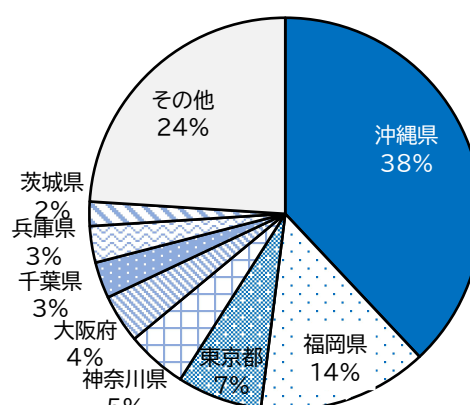
7-9月でみると、令和元年に比べ令和2年の県外客は全体的に増加しています。県内外の需要喚起策（GOTOトラベル事業や沖縄彩発見等）の影響により、県内客の割合が増加しています。

市内宿泊者の居住地割合
（令和元年 4月～6月）



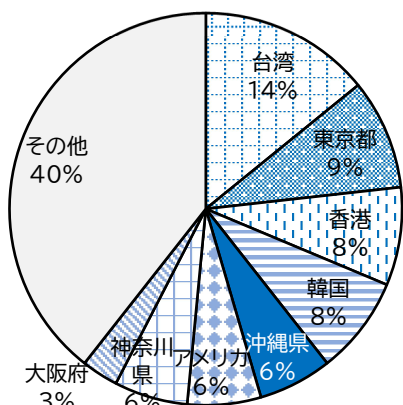
n=51,247 人泊

市内宿泊者の居住地割合
（令和2年 4月～6月）



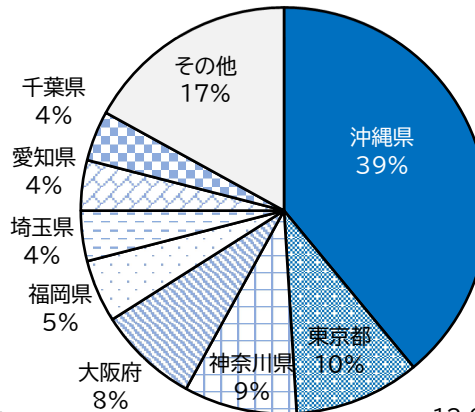
n=6,836 人泊

市内宿泊者の居住地割合
（令和元年 7月～9月）



n=56,546 人泊

市内宿泊者の居住地割合
（令和2年 7月～9月）



n=12,937 人泊

出典：宿泊統計調査（沖縄市）

⑥主要観光施設入場者数および主要イベント参加者数

沖縄市の主要観光施設入場者数は、年間の合計が年々増加傾向で、令和元年度においては約390万人でした。しかし、令和2年度は約210万人に減少しており、新型コロナウイルス感染症の拡大によって人流が強く抑制されたことが影響していると考えられます。また、主要イベント参加者数は、令和元年度までは年々増加傾向にありましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けイベントの中止や延期が相次ぎ、約2万人と大幅に減少しています。

【市内主要観光施設における年間入場者数合計】

(単位:人)

事業名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
主要観光施設における年間入場者数合計	3,473,686	3,691,999	3,852,782	3,896,090	2,099,989

出典:沖縄市観光スポーツ振興課

【主要イベント参加者数】

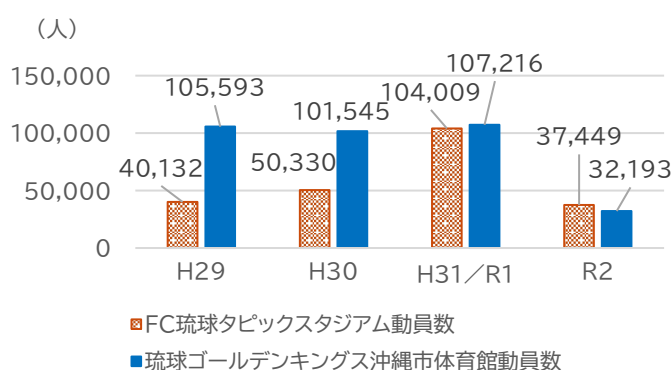
(単位:人)

事業名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
全島エイサーまつり	325,000	235,000	340,000	350,000	中止
音市場関連イベント	94,795	105,109	117,834	105,805	9,883
沖縄市産業まつり	50,000	50,000	35,000	42,000	中止
こどもの国フェスティバル	48,834	46,357	30,718	73,782	中止
広島東洋カープキャンプ	20,400	26,318	31,780	23,634	1,714
沖縄市工芸フェア	18,000	19,000	15,000	中止	4,500
沖縄国際カーニバル	15,000	18,000	50,000	48,700	3,000
エイサーナイト	10,370	9,300	7,250	9,800	中止
おきなわマラソン	12,750	12,283	13,151	12,321	延期
ピースフルラブロックフェス	3,100	2,000	2,400	2,500	中止
芸能フェスティバル(H27~R1)					
沖縄市文化芸術祭(R2~)	16,094	16,387	2,554	8,429	中止
モータースポーツフェス	33,000	36,000	42,000	42,000	中止
合計	647,343	575,754	687,687	718,971	19,097

出典:沖縄市観光スポーツ振興課

⑦FC琉球、琉球ゴールデンキングスのホーム戦動員数

FC琉球および琉球ゴールデンキングスのホーム戦動員数は、令和元年度まではいずれも増加傾向にありましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことで大きく減少しています。



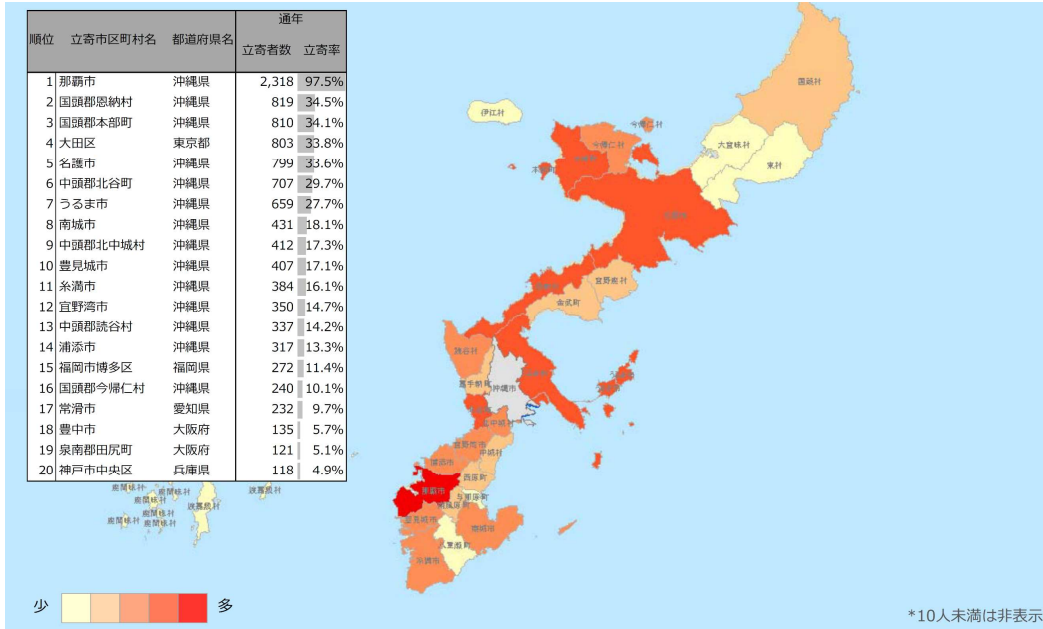
出典:沖縄市観光スポーツ振興課

(4) 観光客の動態

①観光客立ち寄り地（市町村）

・沖縄市来訪の県外客の市町村別立ち寄り者数・立ち寄り率

那覇市に次いで恩納村、本部町、名護市、北谷町、うるま市が多くなっています。



出典:令和2年度沖縄市観光統計調査(携帯GPS調査)

・外国人観光客の前後の立ち寄り状況

外国人観光客では那覇市が最も多く、次いで北谷町、豊見城市、本部町、北中城村と続いています。

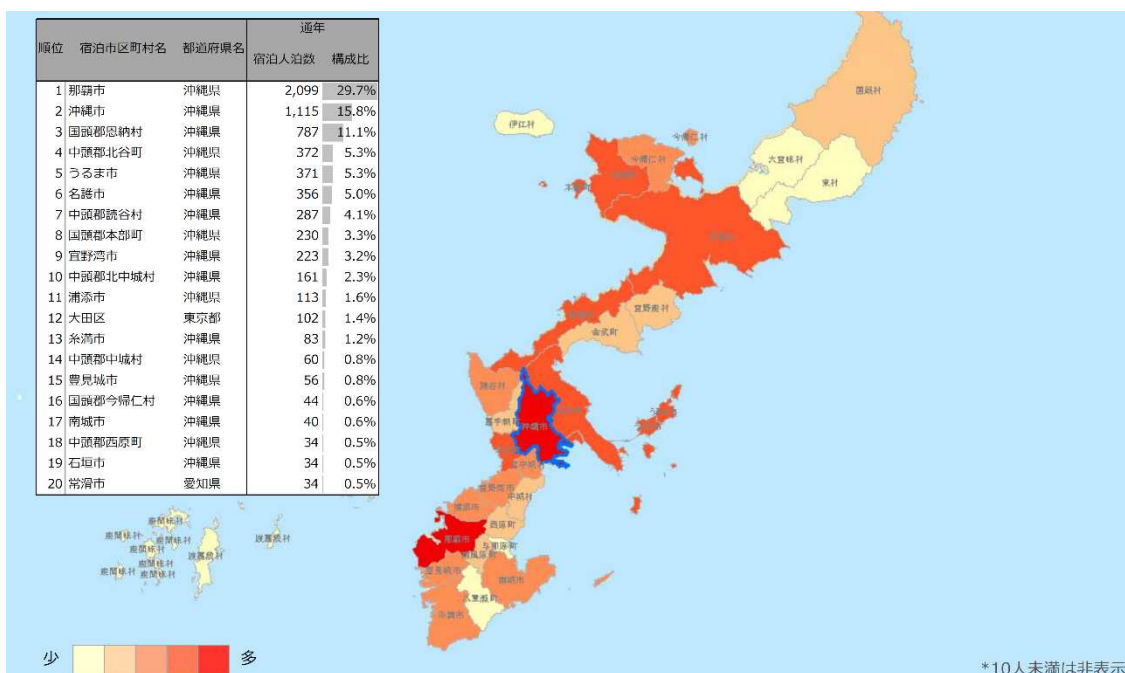
順位	市町村名	都道府県名	延べ立ち寄り数	来訪前立ち寄り数	前後傾向	来訪後立ち寄り数
—	全体		89,840	44,325		45,515
1	那覇市	沖縄県	11,460	4,533		6,927
2	中頭郡北谷町	沖縄県	10,712	5,413		5,299
3	豊見城市	沖縄県	8,498	2,978		5,520
4	国頭郡本部町	沖縄県	8,334	5,267		3,067
5	中頭郡北中城村	沖縄県	8,162	3,783		4,379
6	名護市	沖縄県	7,463	4,671		2,792
7	国頭郡恩納村	沖縄県	5,790	3,330		2,460
8	南城市	沖縄県	4,222	1,598		2,624
9	浦添市	沖縄県	4,208	1,723		2,485
10	沖縄市	沖縄県	4,051	2,179		1,872
11	国頭郡今帰仁村	沖縄県	3,787	2,410		1,377
12	うるま市	沖縄県	3,057	1,550		1,507
13	糸満市	沖縄県	2,461	1,067		1,394
14	宜野湾市	沖縄県	2,451	1,105		1,346
15	中頭郡読谷村	沖縄県	1,892	1,007		885

出典:令和2年度沖縄市観光統計調査(レンタカーGPS調査)

②宿泊場所（市内、市外宿泊）

・市区町村別宿泊人数・構成比

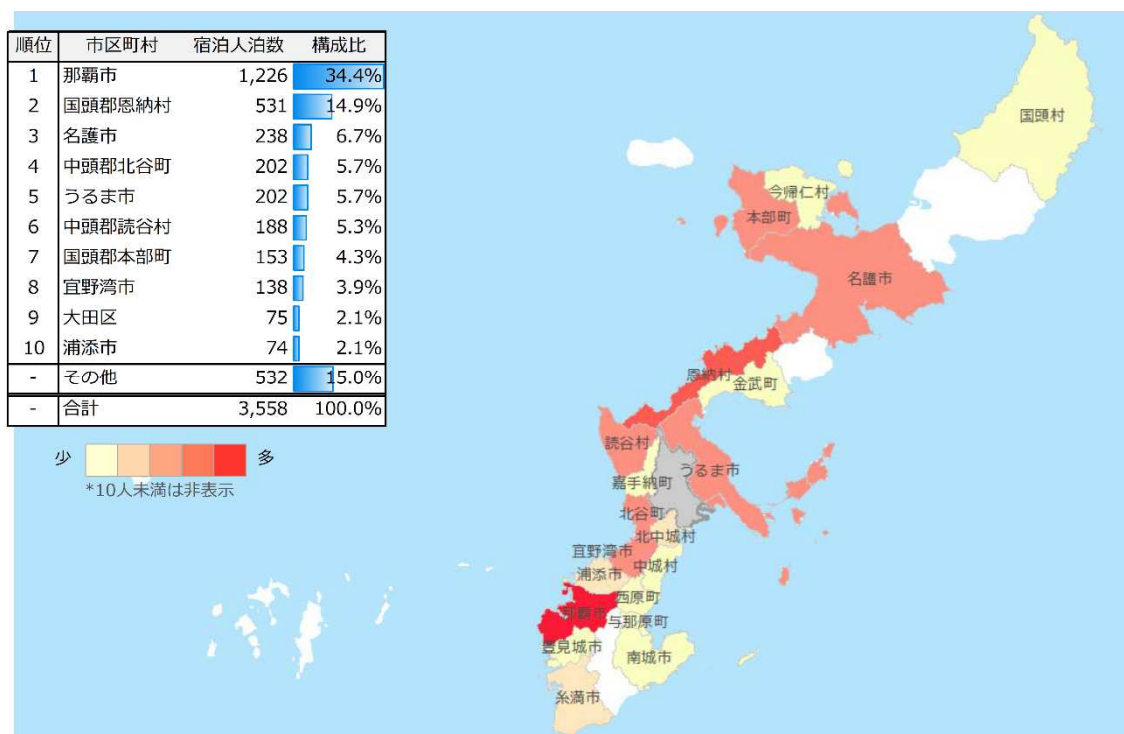
沖縄市来訪の県外客では、那覇市が29.7%と最も多く、次いで沖縄市が15.8%、恩納村が11.1%、北谷町が5.3%となっています。



出典:令和2年度沖縄市観光統計調査(携帯 GPS 調査)

・沖縄市における60分未満滞在者の宿泊地分析

沖縄市来訪の県外客では、那覇市が34.4%と最も多く、次いで恩納村が14.9%、名護市が6.7%と続いています。



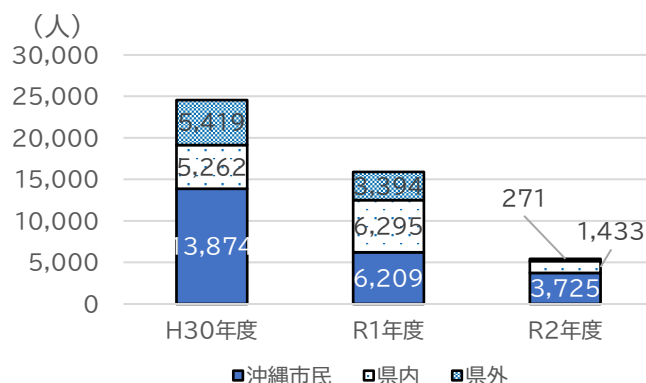
出典:令和2年度沖縄市観光統計調査(携帯 GPS 調査)

③プロ野球キャンプ客の動向（滞在者数、県外居住者詳細）

・広島東洋カープがキャンプをおこなっているコザ運動公園（コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド）における過去3年分の12月から翌2月末までの滞在者数

広島東洋カープが優勝した平成30年度が最も多く、次いで令和元年度が多い状況です。

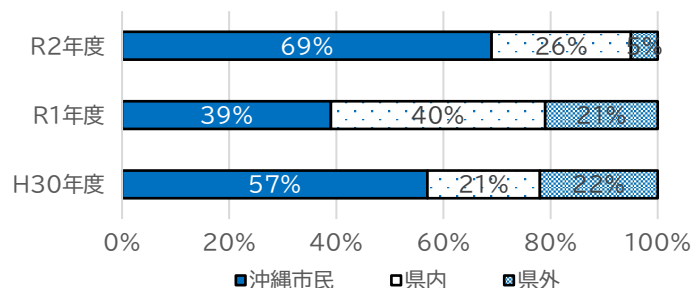
令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から見学なしの処置がとられたため、大きく減少しており、特に県外の滞在者数については271人と前年度の1割以下と大きく減少しました。



出典：令和2年度沖縄市観光統計調査業務報告書をもとに作成

・キャンプ会場における滞在者の居住地別の割合

キャンプ会場（コザ運動公園（コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド））の滞在者の居住地別の割合は、コロナ禍以前においては県外客が約20%を占めているのに対し、コロナ禍（令和2年度）においては5%程度にとどまっています。



出典：令和2年度沖縄市観光統計調査業務報告書をもとに作成

・キャンプ会場における滞在者のうち県外居住者の詳細

コロナ禍以前（平成30年度、令和元年度）においては、キャンプ会場における滞在者の県外居住者の割合は広島県が最も多く約3割程度を占めています。しかし、令和2年度では、広島県は県外全体のうち7%程度であり、最も多いのは秋田県の82%となっています。

H30

1	広島県	1,662	31%
2	宮崎県	710	13%
3	山口県	384	7%
4	兵庫県	366	7%
5	大阪府	365	7%
6	神奈川県	300	6%
7	東京都	275	5%
8	その他	1,357	25%
	県外全体	5,419	100%

R1

1	広島県	1,231	36%
2	大阪府	361	11%
3	愛知県	214	6%
4	秋田県	177	5%
5	兵庫県	165	5%
6	山口県	159	5%
7	神奈川県	154	5%
8	その他	933	27%
	県外全体	3,394	100%

R2

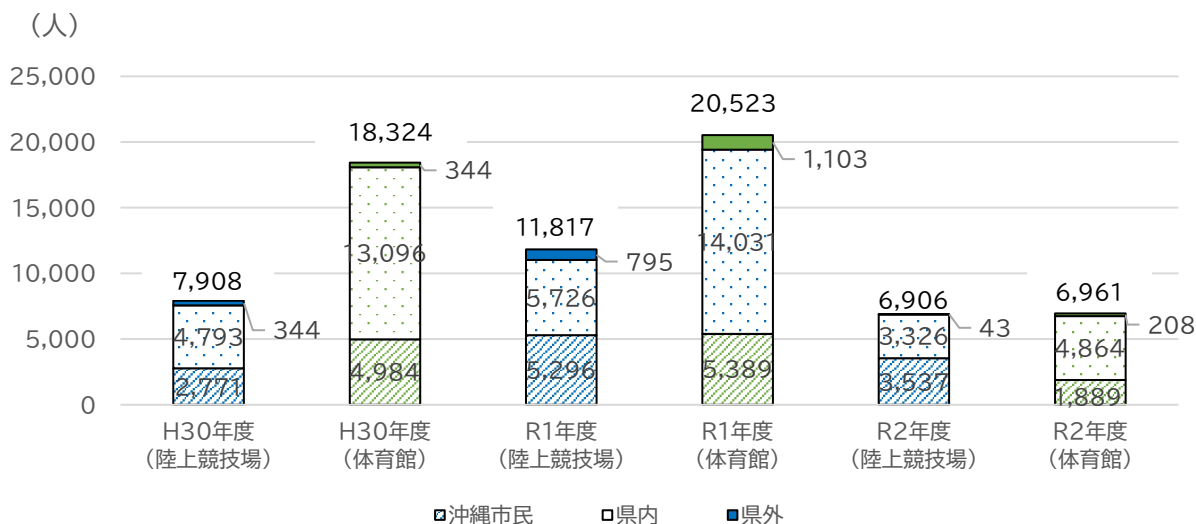
1	秋田県	222	36%
2	愛知県	31	11%
3	広島県	18	6%

出典：令和2年度沖縄市観光統計調査業務報告書

④スポーツ合宿参加者の動向（滞在者数、県外居住者の詳細）

・合宿利用施設・大会利用施設における滞在者数の年度比較

合宿利用施設であるコザ運動公園（陸上競技場）、大会利用施設であるコザ運動公園（体育館）の平成30年度から令和2年度までにおける12月から2月末までの滞在者数の推移について、令和元年度が陸上競技場（合宿利用施設）、体育館（大会利用施設）の滞在者数が最も多くなっています。しかし、令和2年度では、両施設とも過去2年のいずれの年度よりも低く、特に体育館の減少が顕著になっています。



出典:令和2年度沖縄市観光統計調査業務報告書をもとに作成

・合宿利用施設・大会利用施設の滞在者のうち県外居住者の詳細

陸上競技場の滞在者のうち県外居住者の詳細をみると、平成30年度では福岡県、令和元年度は岩手県、令和2年度は長野県と各年度の首位は異なる状況でした。首位以下についても3年間のなかで傾向はみられませんでした。

体育館については、東京都が3年いずれも3位以内に入っており、例年2割前後程度を占めていることが確認できます。

■合宿利用施設:コザ運動公園(陸上競技場)

H30

1	福岡県	114	33%
2	東京都	81	24%
3	埼玉県	66	19%
4	兵庫県	59	17%
5	宮城県	24	7%
	県外全体	344	100%

R1

1	岩手県	277	35%
2	岐阜県	147	18%
3	愛知県	94	12%
4	神奈川県	87	11%
5	東京都	77	10%
6	埼玉県	76	10%
7	千葉県	37	5%
	県外全体	795	100%

R2

1	東京都	277	65%
2	長野県	147	35%
	県外全体	424	100%

出典:令和2年度沖縄市観光統計調査業務報告書

■大会利用施設:コザ運動公園(体育館)

H30

1	大阪府	84	33%
2	千葉県	73	24%
3	東京都	40	19%
4	愛知県	24	17%
5	京都府	23	7%
	県外全体	244	100%

R1

1	愛知県	290	26%
2	東京都	214	19%
3	福岡県	161	15%
4	神奈川県	151	14%
5	千葉県	117	11%
6	大阪府	43	4%
7	埼玉県	37	3%
8	その他	90	8%
	県外全体	1,103	100%

R2

1	愛知県	83	40%
2	東京都	55	26%
3	福岡県	28	13%
4	神奈川県	16	8%
5	千葉県	15	7%
6	大阪府	11	5%
7	埼玉県	0	0%
8	その他	0	0%
	県外全体	208	100%

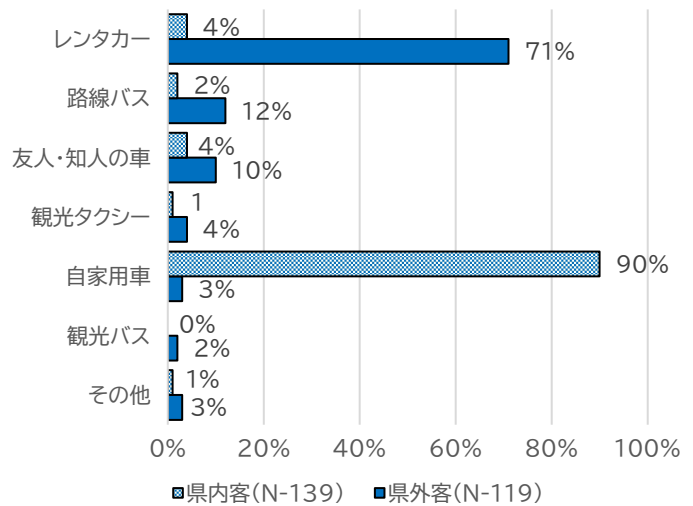
出典:令和2年度沖縄市観光統計調査業務報告書

⑤交通手段

・沖縄市内の宿泊施設に宿泊した観光客の沖縄市までの交通手段

県内客は「自家用車」の利用が90%を占め、「レンタカー」が4%、「友人・知人の車」が4%、路線バスが2%となっています。

県外客は「レンタカー」の利用が71%を占め、次いで「路線バス」が12%、「友人・知人の車」が10%となっています。



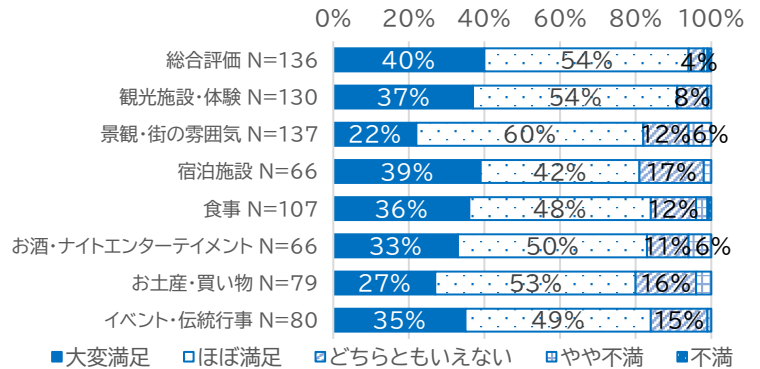
出典:令和2年度沖縄市観光統計調査業務報告書をもとに作成

(5) 沖縄市の観光客満足度、評価

①観光客満足度（県、市比較）行動別満足度（県内客、県外客）

・沖縄市内に滞在中の行動別満足度（県内客）

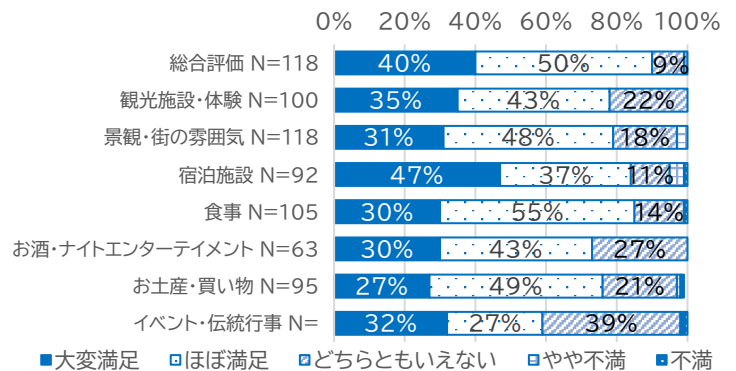
県内客の総合評価については、「大変満足」もしくは「ほぼ満足」は94%となっています。項目別では、「観光施設・体験の満足度」の満足度が他と比較してやや高く、「お土産・買い物」の満足度がやや低い傾向にあります。



出典：令和2年度沖縄市観光統計調査業務報告書

・沖縄市内に滞在中の行動別満足度（県外客）

県外客の総合評価については、「大変満足」もしくは「ほぼ満足」の割合は90%となっており、県内客と比較するとやや低い傾向にあります。「宿泊施設」の「大変満足」の割合は高く47%となっています。その一方で、「お土産」の「大変満足」の割合は27%とその他項目と比べてやや低い状況です。

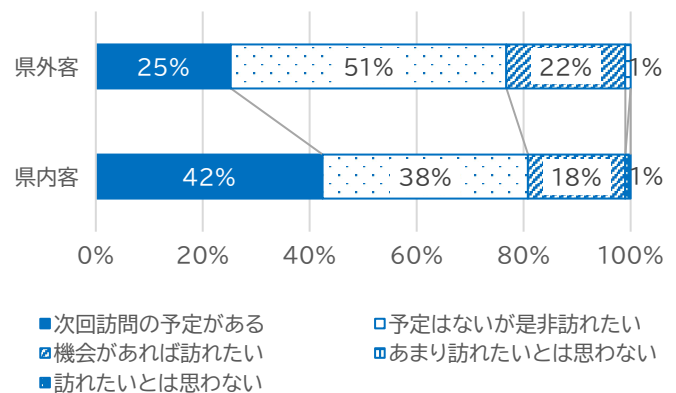


出典：令和2年度沖縄市観光統計調査業務報告書

②観光客再訪意向（県市比較）

・沖縄市の再訪意向

県内客は「次回訪問の予定がある」が最も高く42%、次いで「予定は無いが訪れたい」が38%です。その一方、県外客が「予定は無いが是非訪れたい」が51%と最も高くなっており、「次回訪問の予定がある」が25%です。県内客の再訪意向は、県外客よりやや弱くなっています。



出典：令和2年度沖縄市観光統計調査業務報告書をもとに作成

(6) 市民による観光振興への意向

令和3年実施の市民アンケートより、以下整理しました。

※調査対象：市内在住の満18歳以上の中から1,500人を無作為抽出

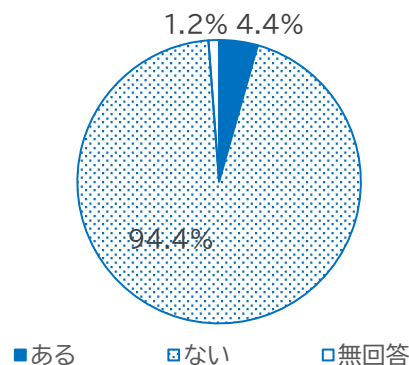
配布数：1,500票

回収数：252票

回収率：16.8%

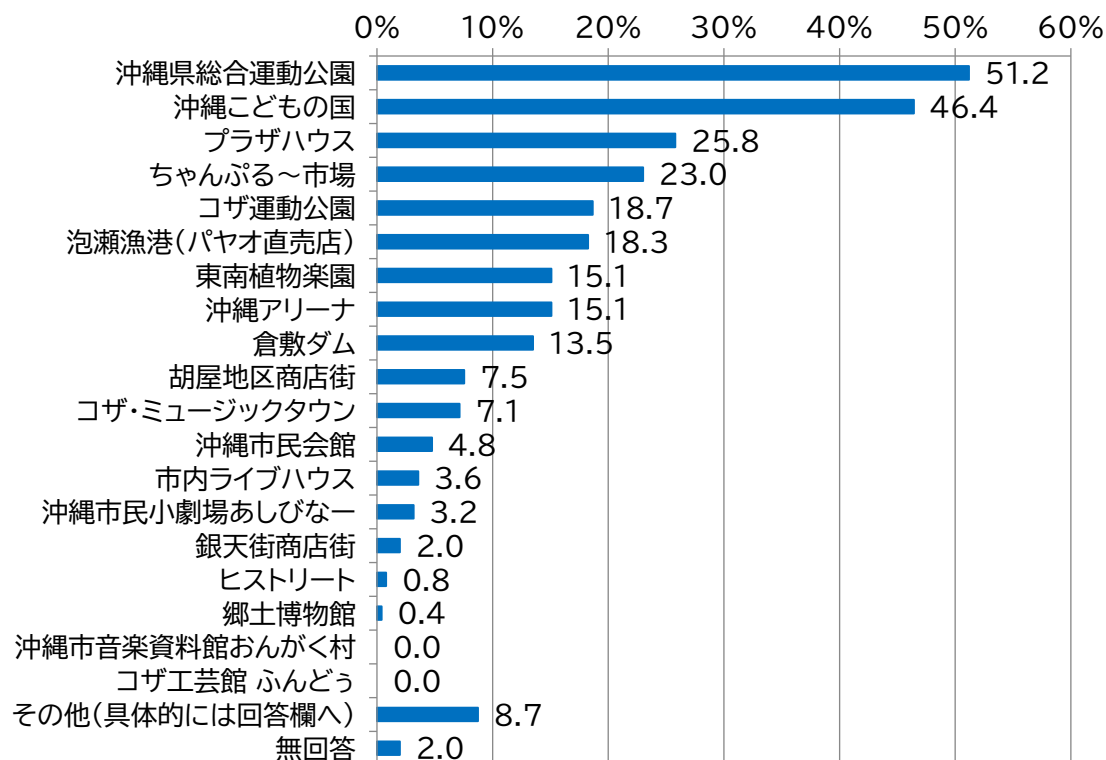
①市民と観光客とのかかわり

「ない」が94.4%と最も多く、次いで「ある」が4.4%となっています。



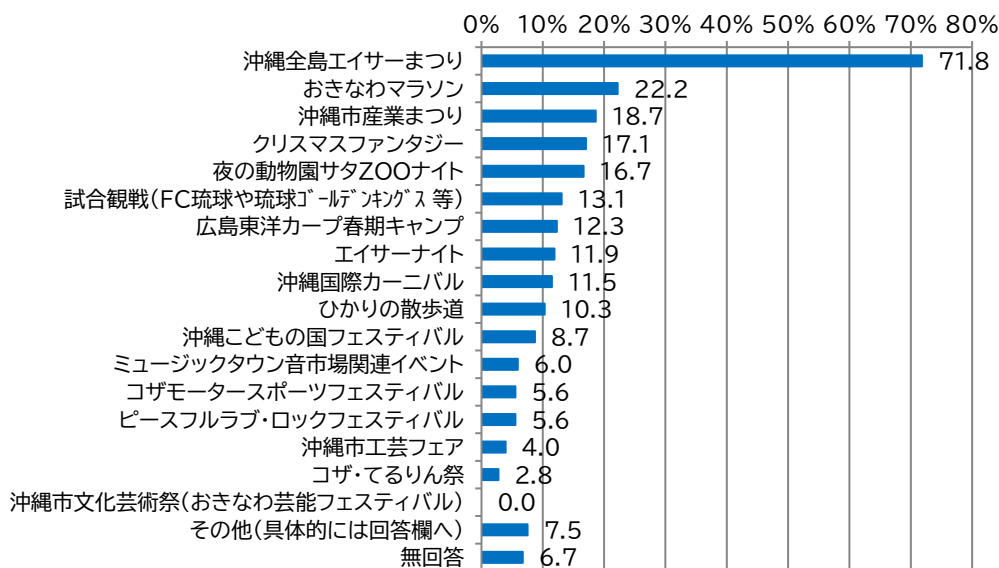
②沖縄市内でのお気に入りのスポット（施設・エリア）

「沖縄県総合運動公園」が51.2%と最も多く、次いで「沖縄こどもの国」が46.4%、「プラザハウス」が25.8%、「ちゃんぷる～市場」が23.0%となっています。



③ 沖縄市内でのお気に入りのイベント・まつり

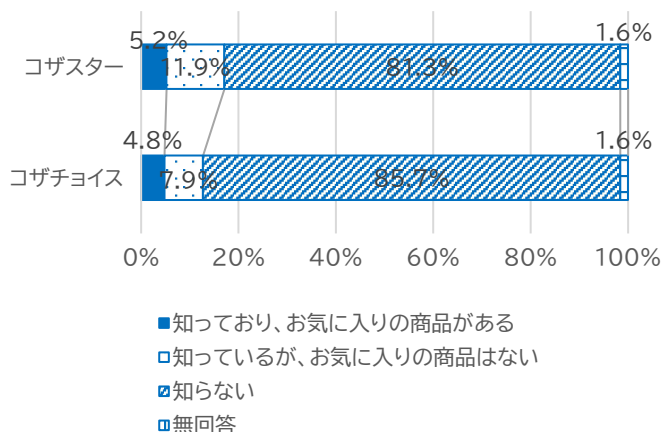
「沖縄全島エイサーまつり」が71.8%と最も多く、次いで「おきなわマラソン」が22.2%、「沖縄市産業まつり」が18.7%、「クリスマスファンタジー」が17.1%となっています。



④ 「コザスター」、「コザチョイス」の市民認知度

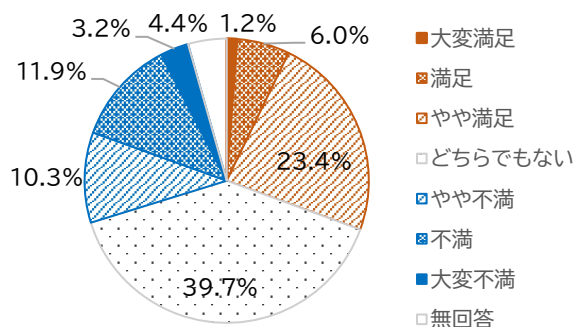
コザスターについては、「知らない」が81.3%と最も多く、次いで「知っているが、お気に入りの商品はない」が11.9%、「知っているが、お気に入りの商品がある」が5.2%となっています。

また、コザチョイスについては、「知らない」が85.7%と最も多く、次いで「知っているが、お気に入りの商品はない」が7.9%、「知っているが、お気に入りの商品がある」が4.8%となっています。



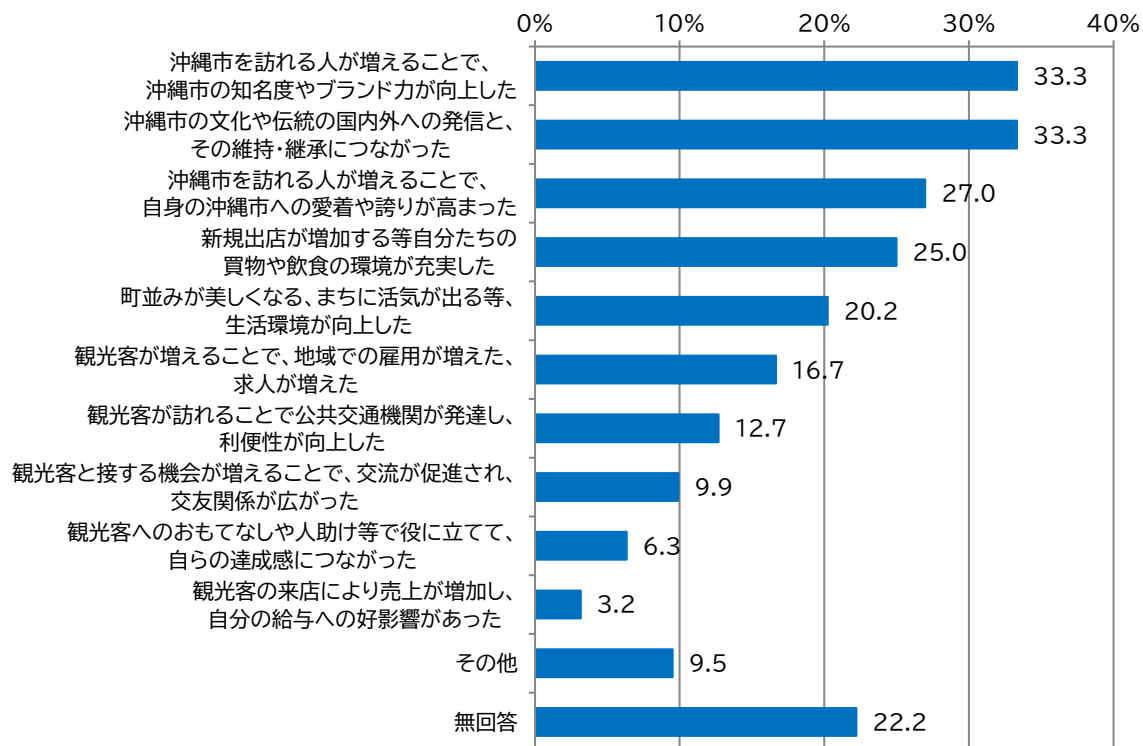
⑤ これまでの沖縄市の観光に対する「満足度」

「どちらでもない」が39.7%と最も多く、次いで「やや満足」が23.4%、「不満」が11.9%、「やや不満」が10.3%となっています。



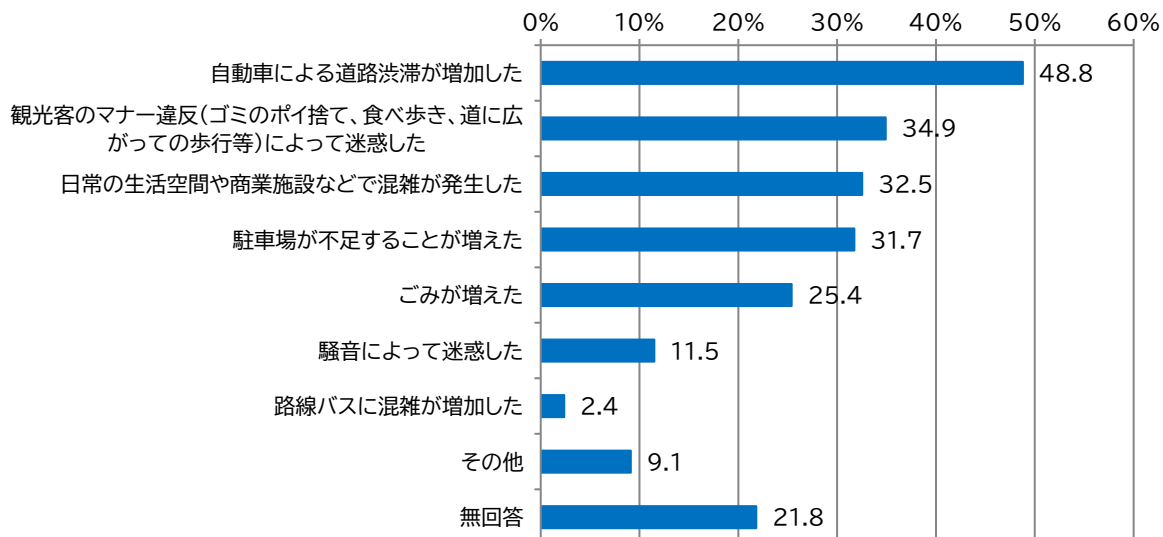
⑥沖縄市に観光客が来訪することによる良い影響

「沖縄市を訪れる人が増えることで、沖縄市の知名度やブランド力が向上した」「沖縄市の文化や伝統の国内外への発信と、その維持・継承につながった」が33.3%、「沖縄市を訪れる人が増えることで、自身の沖縄市への愛着や誇りが高まった」が27.0%、「新規出店が増加する等自分たちの買物や飲食の環境が充実した」が25.0%となっています。



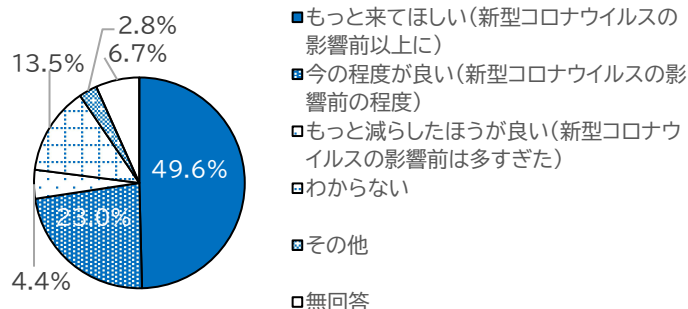
⑦沖縄市に観光客が来訪することによる悪い影響

「自動車による道路渋滞が増加した」が48.8%と最も多く、次いで「観光客のマナー違反（ゴミのポイ捨て、食べ歩き、道に広がっての歩行等）によって迷惑した」が34.9%、「日常生活空間や商業施設などで混雑が発生した」が32.5%、「駐車場が不足することが増えた」が31.7%となっています。



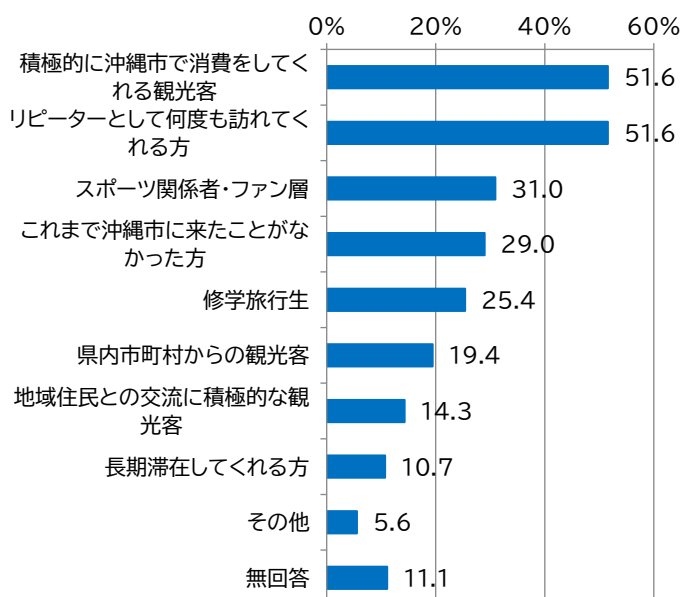
⑧観光客を誘客することについての意見

「もっと来てほしい（新型コロナウイルスの影響前以上に）」が49.6%と最も多く、次いで「今の程度が良い（新型コロナウイルスの影響前の程度）」が23.0%、「わからない」が13.5%、「もっと減らした方が良い（新型コロナウイルスの影響前は多すぎた）」が4.4%となっています。



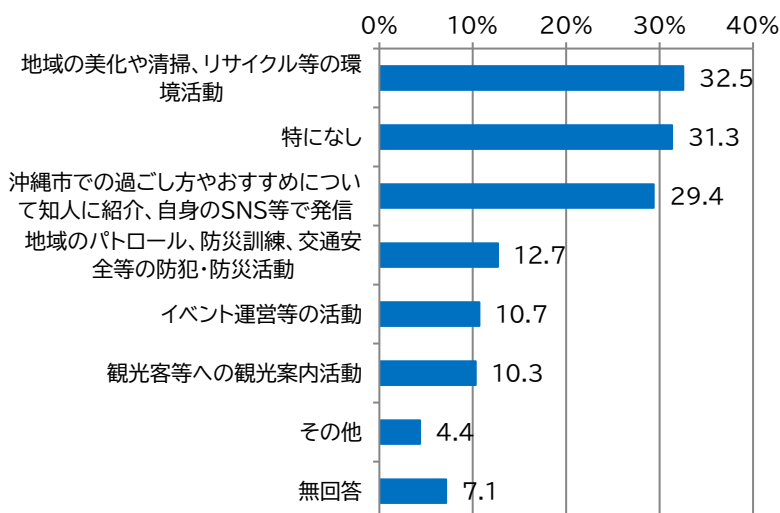
⑨沖縄市に来訪してほしい観光客

「積極的に沖縄市で消費をしてくれる観光客」「リピーターとして何度も訪れてくれる方」が51.6%、「スポーツ関係者・ファン層」が31.0%、「これまで沖縄市に来たことがなかった方」が29.0%となっています。



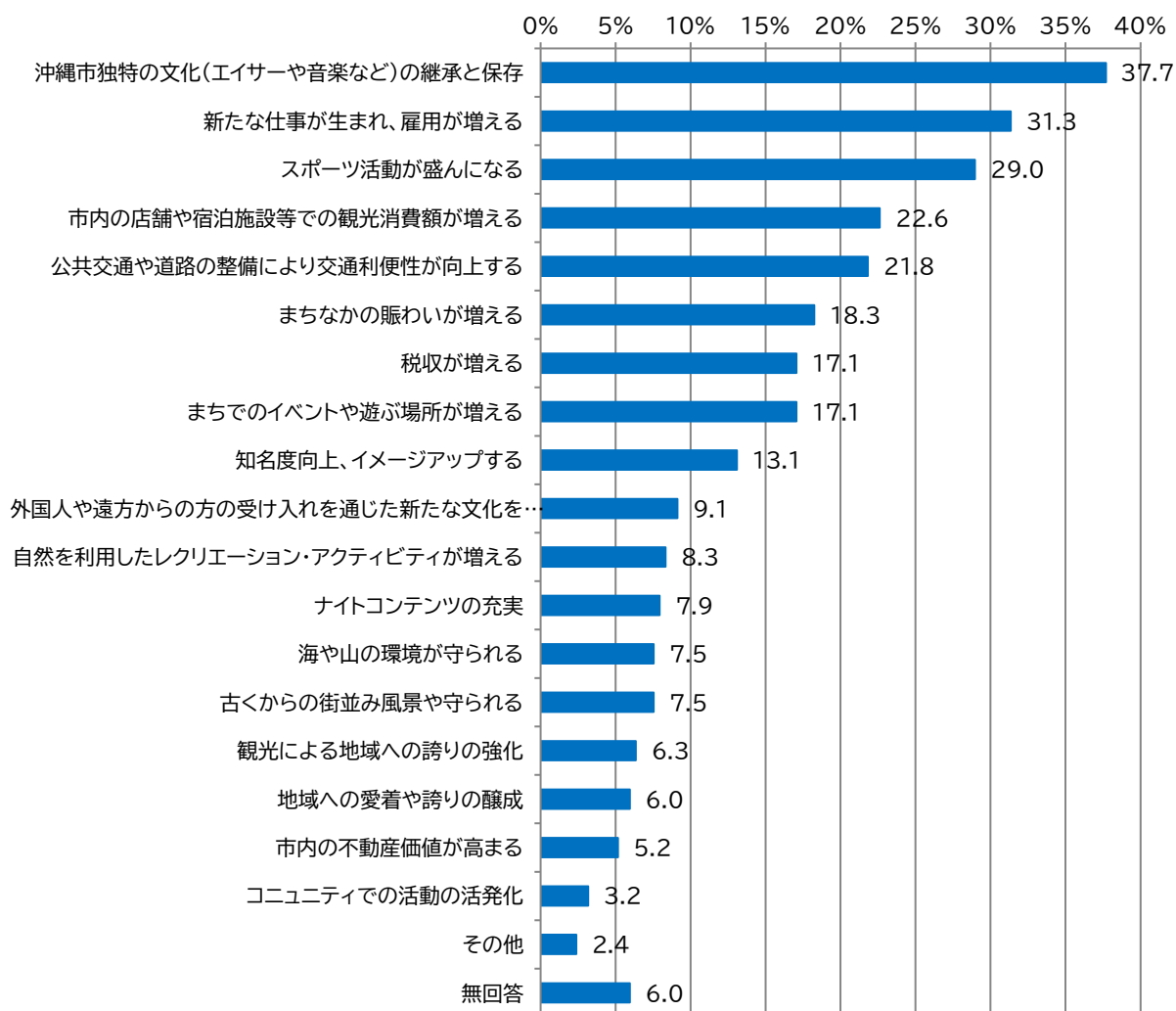
⑩今後の市民の観光への関わり

「地域の美化や清掃、リサイクル等の環境活動」が32.5%と最も多く、次いで「特になし」が31.3%、「沖縄市での過ごし方やおすすめについて知人に紹介、自身のSNS等で発信」が29.4%、「地域のパトロール、防災訓練、交通安全等の防犯・防災活動」が12.7%となっています。



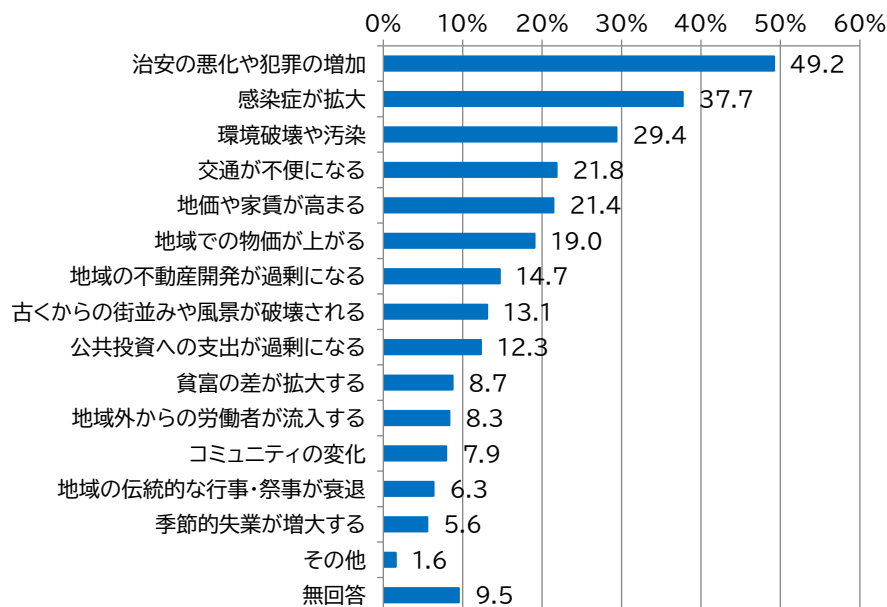
⑪観光振興（観光客増加）で期待すること

「沖縄市独特の文化（エイサーや音楽など）の継承と保存」が37.7%と最も多く、次いで「新たな仕事生まれ、雇用が増える」が31.3%、「スポーツ活動が盛んになる」が29.0%、「市内の店舗や宿泊施設等での観光消費額が増える」が22.6%となっています。



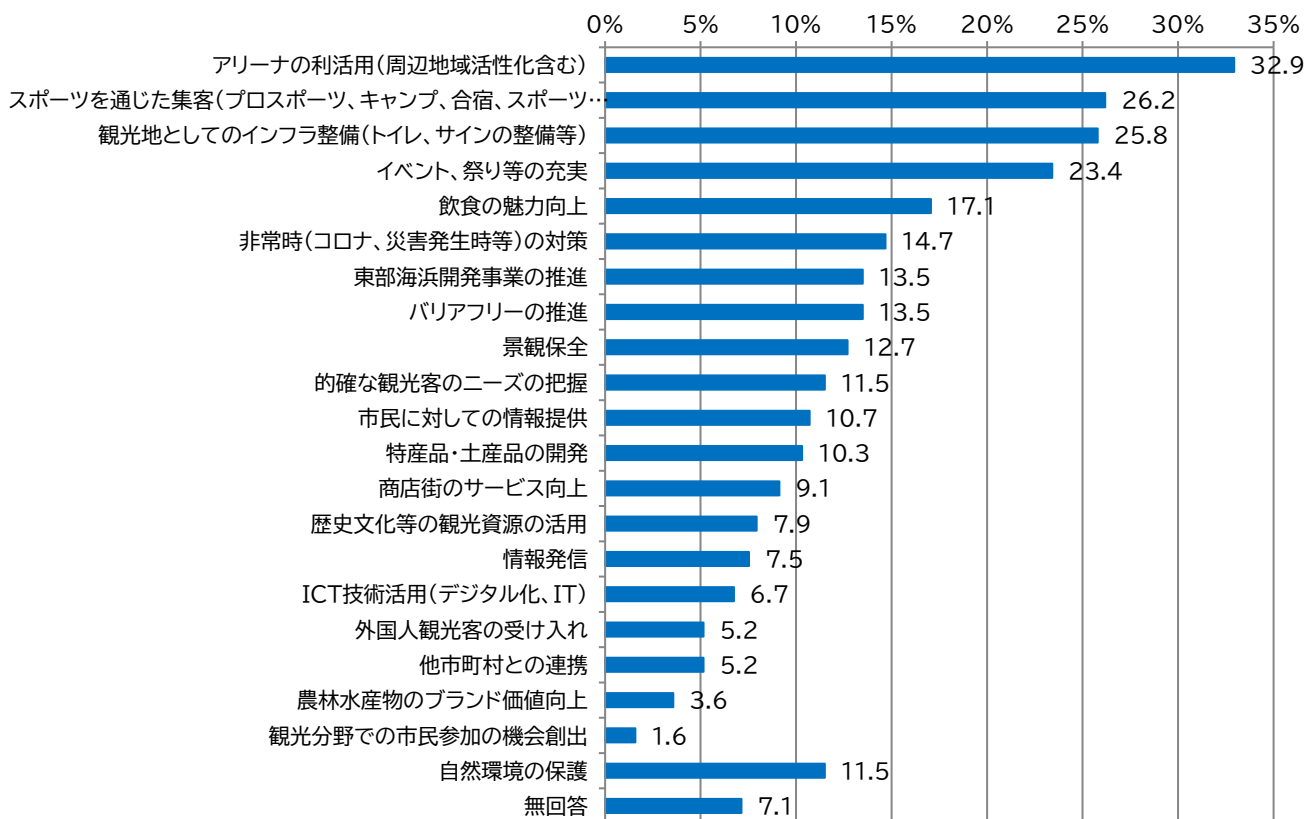
⑫観光振興（観光客増加）で懸念すること

「治安の悪化や犯罪の増加」が49.2%と最も多く、次いで「感染症が拡大」が37.7%、「環境破壊や汚染」が29.4%、「交通が不便になる」が21.8%となっています。



⑬今の沖縄市が最も力を入れるべきだと思う観光施策

「アリーナの利活用（周辺地域活性化含む）」が32.9%と最も多く、次いで「スポーツを通じた集客（プロスポーツ、キャンプ、合宿、スポーツ観戦）」が26.2%、「観光地としてのインフラ整備（トイレ、サインの整備等）」が25.8%、「イベント、祭り等の充実」が23.4%となっています。



3 沖縄市観光振興基本計画の評価

(1) 「沖縄アリーナの活用」

①沖縄アリーナの活用による観光振興

沖縄アリーナは、「未来を創り、地域を活性化するアリーナ」をコンセプトに、本市の新たなランドマークとして令和3年3月に供用開始しています。

琉球ゴールデンキングスの公式戦をはじめ、バスケットボール男子日本代表戦、格闘技のRIZINが開催されるなど、これまで沖縄で開催されることがなかった大規模の興行がおこなわれ、県内外から多くの来場者が訪れています。

また、アリーナ周辺地域への周遊を促進するため、シャトルバスの運行支援をおこなうとともに、コザ商店街連合会において「キングス商店街」の取り組みがおこなわれるなど、地域と行政が連携した取り組みをすすめています。

キングス商店街の取り組み
(沖縄市観光物産振興協会 SNS より)



令和3年4月～9月における
沖縄アリーナの利用状況

日数	件数	来場者数
29	12	60,813

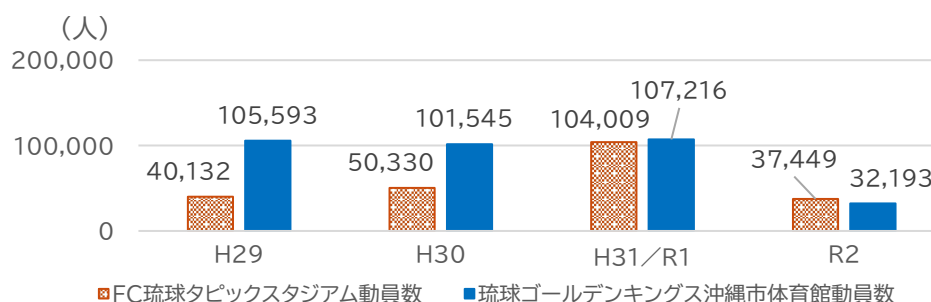
②スポーツコンベンションシティとしての基盤の強化

本市は、平成8年(1996年)に「スポーツコンベンションシティ」の宣言をおこない、スポーツコンベンションシティの推進に向け、プロスポーツの活動支援や応援機運醸成に取り組むとともに、スポーツのキャンプや合宿の誘致を図るため、スポーツ施設の充実や県内外への情報発信に取り組んでいます。新型コロナウイルス感染症の影響を受けていますが、スポーツ観客動員数や合宿受入件数は増加傾向にあります。

スポーツ合宿受け入れ実績

	H29	H30	H31/R1	R2
団体数	156 団体	324 団体	378 団体	25 団体
日数	669 日	1,334 日	1,735 日	164 日
人数	4,976 人	6,640 人	6,371 人	630 人
延べ人数	19,911 人	26,742 人	27,896 人	5,783 人

ホーム試合における観客動員数



(2) ICT活用

① 市の観光情報発信機会の拡大

本市のプロモーション番組「コザの裏側」のテレビ放送およびYouTube配信や観光ポータルサイト「コザウェブ」における観光情報の発信に取り組むとともに、観光情報誌「沖縄市GO」を県内外に配布し、電子パンフレットとして「コザウェブ」に掲載しています。

平成30年6月にInstagramを活用し、「Kozagirls」による情報発信を開始しています。

観光ポータルサイト「コザウェブ」



プロモーション番組「コザの裏側」



観光情報誌「沖縄市GO」



Instagramより「koza girls」



② 情報やサービスの国際化

観光ポータルサイト「コザウェブ」について、日本語のほか、英語／中国語（繁体字／簡体字）／韓国語の計5か国語の言語に対応するとともに、「沖縄市スポーツトレーニングキャンプガイド」については、日本語および英語により情報発信するなど、多言語による観光誘客に取り組んでいます。

「コザウェブ」の各種言語対応



沖縄市スポーツトレーニングキャンプガイド

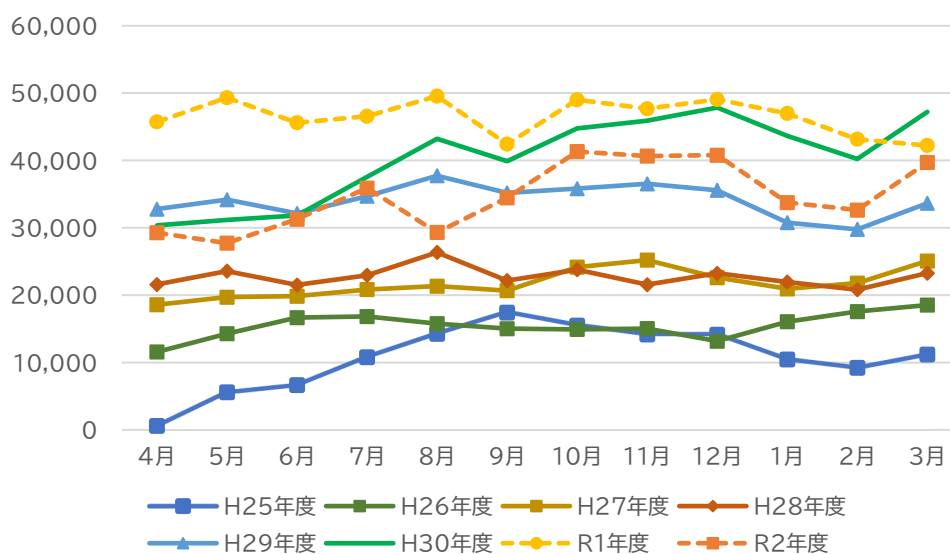


③ 最先端ICTの観光活用

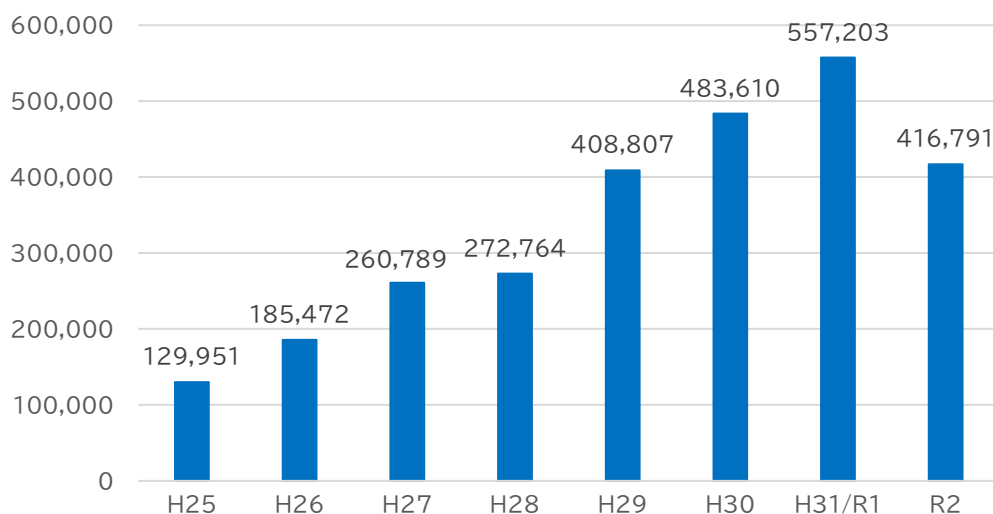
平成24年度に開設した「コザウェブ」は、アクセシビリティおよびユーザビリティの向上を目的として、令和2年度にはスマートデバイス対応にするとともに、「コザWi-Fi」については、公共施設や集客施設にて運用し、令和元年度まで利用数は増加しています。

また、沖縄アリーナにおいては、来場者が快適に過ごせるようLANおよびWi-Fiの整備のほか、国内のアリーナで常設での設置が初となる自由視点映像システム「4DREPREY」を導入するなど、官民連携により、最先端ICTの導入に向けた検討がすすめられています。

「コザWi-Fi」月別利用状況
(平成25年度～令和2年度)



「コザWi-Fi」年度間利用状況
(平成25年度～令和2年度)



(3) バリアフリー観光の推進

① ハードとソフトのバリアフリー化

本市では、観光バリアフリーセミナーを平成30年度および令和2年度に実施し、観光関連事業者のバリアフリーに関する意識啓発に取り組んでいます。

令和3年度の市内事業者へのアンケートにおいて、建物や敷地内のバリアフリー化に関する意向は「すでに取り組んでいる」と「これから取り組む予定」をあわせると38.3%になっており、平成28年の25.5%よりも増加しています。

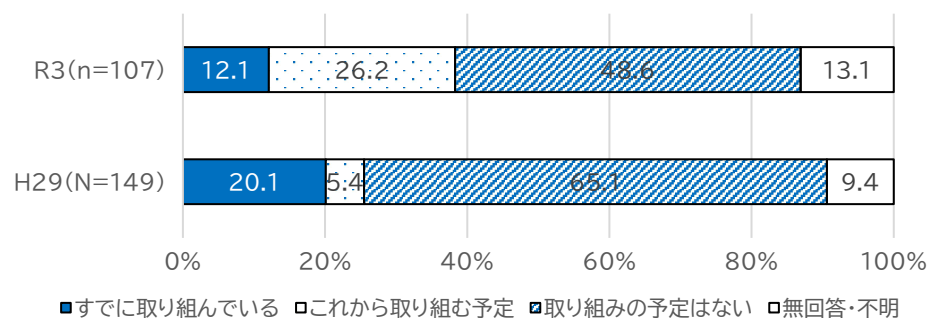
また、バリアフリー観光に関する補助制度の活用に関しては「補助制度があれば活用したい」が72.0%となっており、平成28年の49.5%よりも増加しています。

② 市民や事業者のおもてなし力の結集

沖縄こどもの国や東南植物楽園といった集客施設や市内宿泊施設を対象に観光バリアフリーセミナーを平成30年度および令和2年度に実施し、関連事業者のおもてなしのスキル向上を支援しています。

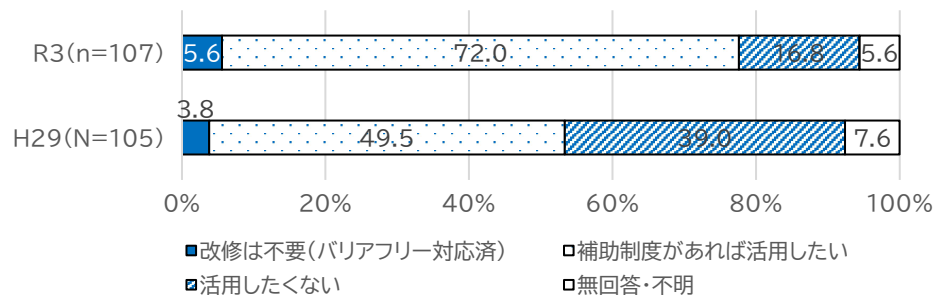
建物や敷地内のバリアフリー化の状況または意向

令和3年のバリアフリー実態調査（上図）と平成29年の前回計画策定時（下図）にて比較



バリアフリー観光に係る新たな補助制度の活用意欲

令和3年のバリアフリー実態調査（上図）と平成29年の前回計画策定時（下図）にて比較

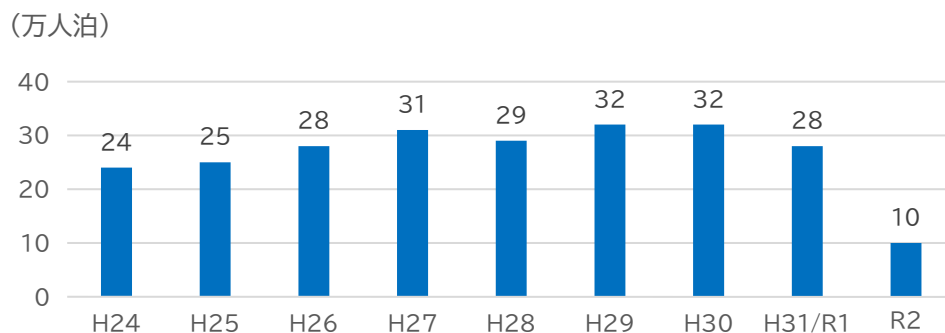


(4) 施策の基盤となる統計調査および計画の評価の実施

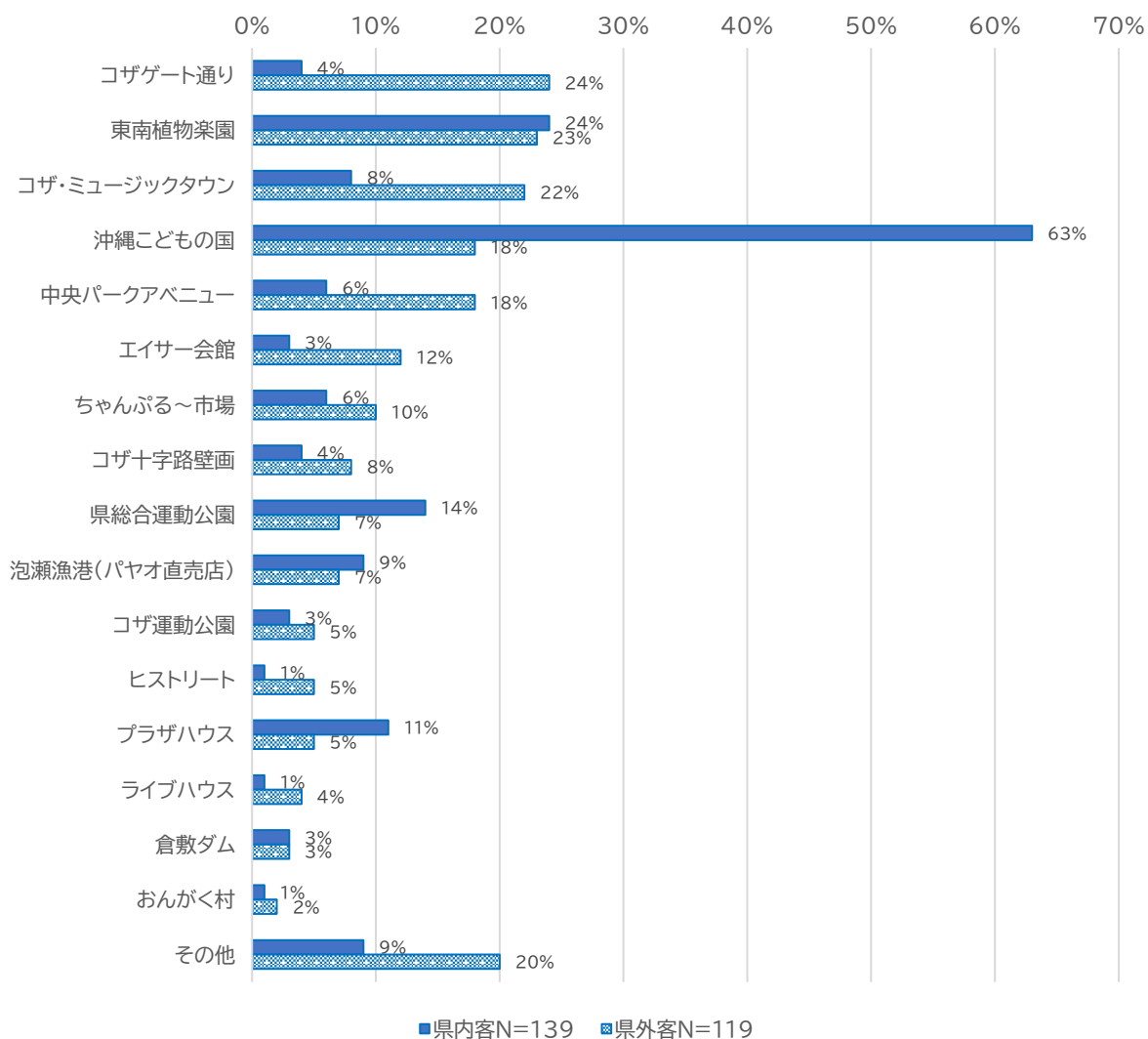
① 基礎資料となるデータの収集と分析

平成30年度より「沖縄市観光統計調査」を実施しており、延べ宿泊者数や観光客の動態・満足度など、本市の観光に関する現状分析に取り組んでいます。

沖縄市における延べ宿泊者数の推移
(平成24年～令和2年)



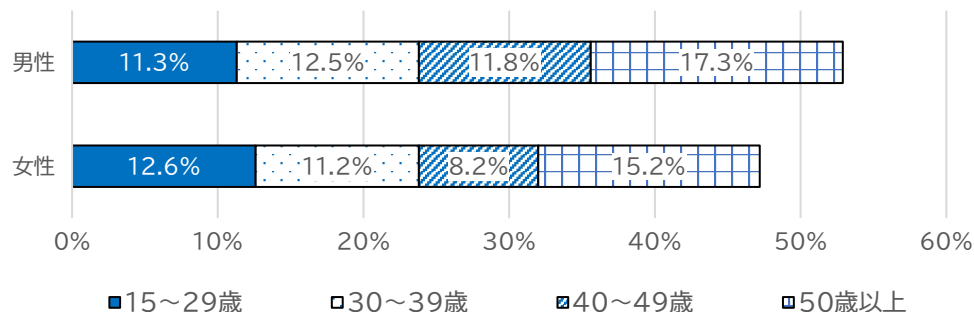
沖縄市内の来訪場所



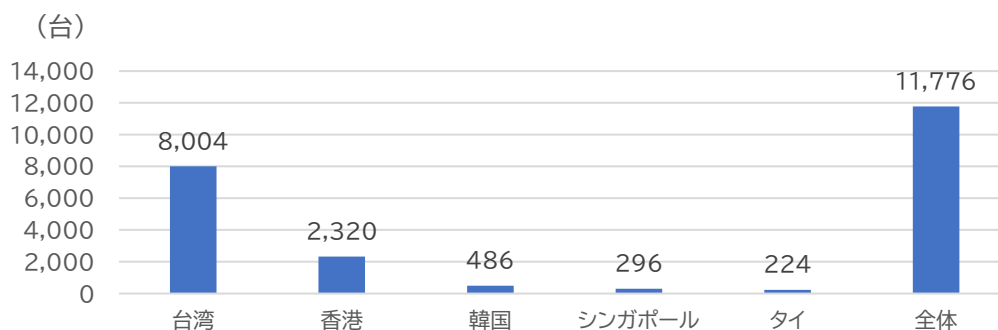
② ビッグデータの活用

「沖縄市観光統計調査」において、携帯位置情報データやレンタカー利用者情報など、ビッグデータを活用し、観光客の属性や人流の把握・分析に取り組んでいます。

沖縄市全体の来訪者 2,378 人のうち、
性別割合および年齢層別割合（KDDI の位置情報データより）



沖縄市全体の国外来訪者利用レンタカー台数 11,776 台のうち、
国籍別割合（OTS レンタカーの利用者情報より）



③ 計画の評価によるPDCAサイクルの確立

観光統計調査による本市の現状について、市内観光関連事業者を対象に勉強会を開催し、統計調査の結果を踏まえたマーケティング分析に取り組んでいます。

また、本市の観光振興に関して、外部有識者等で構成される「沖縄市観光振興委員会」を開催し、事業進捗を報告するとともに、次年度の事業内容の説明をおこなうなど、各施策へ反映させるよう取り組んでいます。

Zoom で実施した沖縄市観光振興委員会



(5) これまでの施策、現状、課題から考える沖縄市観光の方向性

【新型コロナウイルスの流行拡大による影響】

○令和元年度からコロナ禍による影響により観光客が減少

- ・ 宿泊者数は平成 30 年までは増加傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和元年から減少に転じています。
- ・ 宿泊者の属性として、コロナ禍以前は、台湾が最も多くなっていましたが、令和 2 年度は新型コロナウイルスの影響により県内客が最多となっています。
- ・ 主要観光施設入場者および主要イベント参加者については、コロナ禍以前は増加傾向となっています。



- ・ コロナ禍からの回復について、社会情勢の動向を注視しながら、新たな生活様式下での観光誘客、観光危機管理の観点を導入した安全・安心な観光地づくりが重要になります。

【観光統計調査による現状分析】

○本市を訪れる観光客の宿泊日数が低いがリピーターが多い

- ・ 県外からの旅行者について、1泊が最も多く 27%、次いで0泊が 26%となっており、1泊以下が過半数を占めています。
- ・ 県外客において、10回以上の来訪者・3～4回目の来訪者がともに 27%と最多となっています。

○本市を訪れる観光客の多くは、那覇や北部、本市周辺での宿泊が多い

- ・ 那覇市、恩納村、本部町、名護市、北谷町、うるま市の順に立ち寄る県外客が多くなっています。
(国外客については、那覇市、北谷町、豊見城市、本部町、北中城村の順)
- ・ 県外客の宿泊場所は那覇市、沖縄市、恩納村、北谷町の順で多くなっています。
(通過観光客(滞在 60 分未満)の宿泊場所は那覇市、恩納村、名護市の順で多くなっています。)
- ・ プロ野球キャンプ会場での来訪者は沖縄市民が半数以上を占めています。
- ・ スポーツ合宿の来訪者は沖縄市民、県内客の順で多くなっています。
- ・ 県外客の多く(7割超)がレンタカーを利用しています。

○観光満足度が高い

- ・ 県内客および県外客において、観光満足度は高い状況となっています。
- ・ 県外客において、観光満足度が 90%と高くなっていますが、イベント・伝統行事が 59%、お酒・ナイトエンターテインメントが 73%と他の項目と比較して低くなっています。
- ・ 再来訪意向は県内客が 80%、県外客が 76%と高くなっています。



- ・ 本市の観光動向の特徴を生かす効果的なプロモーション活動に取り組み、リピーター層の再来訪を図るとともに、新規客層に対し、本市の認知度向上を図ります。
- ・ 本市の強みを活かした観光振興のほか、周辺自治体と連携した広域的・戦略的な誘客に取り組むことにより、滞在型観光を推進します。

【沖縄市観光振興基本計画の評価】

○多目的アリーナの活用による誘客

- ・「沖縄アリーナ」の整備とそれに伴う利用促進、市内商店街と連携した取り組みをおこなっています。
- ・スポーツコンベンションシティとして、プロ・アマスポーツの合宿受け入れ、F C琉球や琉球ゴールデンキングスの公式戦により、多くの方が来訪しています。

○ICTの活用による情報発信を推進

- ・市の観光情報について、ウェブサイトやSNSにおいて、多言語により情報発信しています。
- ・コザW i - F iの利用者数が増加傾向となっています。

○バリアフリー観光の取り組みとして、ハード・ソフト両面での取り組みを推進

- ・建物、施設内のバリアフリー化の推進に向けたセミナーの実施、多言語情報発信をおこなっており、観光関連事業者の観光バリアフリーの導入意向が増加しています。

○統計調査・計画評価の実施

- ・観光客へのアンケートによる現状把握および携帯電話位置情報、レンタカー利用者情報等のビッグデータの活用、沖縄市観光振興基本計画の評価をおこなっています。



- ・スポーツによる来訪者数増やコザW i - F iの利用促進、観光バリアフリーの意識啓発など、成果が出ている状況にあります。引き続き取り組みをすすめ、さらに効果を高めます。
- ・定量的な目標を掲げることで、より効果的な検証がおこなえるよう取り組みます。

【主な観光資源】

○沖縄市の特徴的な歴史を背景に培われた観光資源がある

- ・恵まれたスポーツ環境、本市の特徴的な文化、沖縄アリーナや沖縄こどもの国等の集客施設、独特な雰囲気や街並みが残る中心市街地のほか、知花花織などの工芸品等があります。



- ・本市の魅力的な資源を活かした誘客拡大を図るため、スポーツツーリズム/コンベンションの推進、エイサー等の特色ある文化の価値醸成、中心市街地の活性化や各施設・コンテンツの魅力向上および国内外へのプロモーション活動に取り組みます。



【市民アンケート調査による現状分析】

○市民による観光関連への参画機会や観光満足度は低い

- ・観光客とのかかわりが「ない」と回答した割合が約94%となっています。
- ・お気に入りのスポットについては、沖縄県総合運動公園が約51%、沖縄こどもの国が約46%と多くなっています。イベントについては全島エイサーまつり約72%となっています。
- ・沖縄市の地域ブランド認証制度である「コザスター」、「コザチョイス」について「知らない」との回答が約81%となっています
- ・沖縄市の観光に対する満足度向上が課題となっており、満足が約30%、不満が約25%となっています。

○環境面での貢献と、負の影響の軽減が課題

- ・観光による良い影響として、沖縄市の認知度向上や沖縄市への愛着が深まること、買い物・飲食の環境が充実することが多くなっています。
- ・観光による悪い影響として、自動車による交通渋滞や観光客のマナー違反、日常生活空間や商業施設での混雑、駐車場不足が多くなっています。
- ・観光客にもっと来てほしいという回答が半数となっています。また、観光誘客により期待していることについては、本市独特の文化の継承保存や新たな雇用が増えることが意見として多くなっています。しかしながら、観光誘客により治安の悪化や感染症の流行等を懸念する意見があります。
- ・力を入れるべき観光施策として、沖縄アリーナの利活用やスポーツ資源の活用、インフラ整備、イベント・まつりの充実があげられています。



- ・市民の観光への関心を高め、地域全体でおもてなしする機運を高めるとともに、担い手育成により持続可能な観光地づくりを推進します。
- ・市民の生活環境が改善されることが観光誘客による良い影響として認識されていることから、経済波及効果による雇用創出や観光バリアフリーの促進、混雑緩和に向け、公共交通、二次交通の充実を図るなど、市民理解度の向上を目指します。



1 重点目標／観光が目指すビジョン

「世界にひらき活力あふれる国際文化観光都市」

本市が重点目標として「世界にひらき活力あふれる国際文化観光都市」を掲げ、本市の異国情緒漂う街並みやライフスタイル、50 か国以上の外国人が暮らす国際色豊かな風土と、伝統文化と異文化が融合した個性的な文化を源泉に、内外を魅了するスポーツや芸能・音楽のエンターテインメントを活かした観光の創出で地域経済をけん引し、地域社会のさらなる発展をめざすこととしています。

2 観光振興のあり方

重点目標／観光が目指すビジョンの実現に向け、観光振興のあり方について以下の3つを設定します。

I 魅力的な観光資源を生かした観光振興

勇壮華麗な演舞で人々を魅了するエイサー文化をはじめ、アメリカ文化と融合した個性的な音楽文化や国際色豊かな街並みなど、本市の特徴的な歴史を背景に培われた文化や風土を磨き上げ、その価値を内外に発信するとともに、エンターテインメントの拠点施設となる沖縄アリーナ等の新たに創出された観光資源、恵まれたスポーツ環境や沖縄こどもの国等の県内有数の集客施設、地域における商工業や農水産業など、それぞれの資源を横断的に活用することにより、内外から選ばれる観光地づくりを推進します。

II 社会情勢の変化に対応した観光振興

持続可能な開発目標（SDGs）を取り入れた施策展開、新型コロナウイルス感染症等の流行による新たな生活様式への対応やICT技術の活用による効果的な観光誘客に取り組みます。

また、安全・安心・快適な観光地づくりに向け、観光関連団体・事業者等との連携により、災害や感染症等の観光危機に対応できる体制構築に取り組みます。

III 戦略的な地域マネジメントによる観光振興

観光客や観光産業における現状・課題を的確に把握し、観光振興に資するマーケティングの強化を図るとともに、効果的な観光プロモーションをおこなうなど、戦略的な施策展開および効果検証に取り組みます。

また、観光関連産業における人材育成や市民の観光に関する理解向上・機運醸成を図るとともに、近隣市町村と連携した新たな魅力を創出するなど、広域観光による滞在型観光を推進します。

観光客の受け入れ環境の整備については、国や関係機関等と連携し、市内観光関連施設等の観光バリアフリーの導入促進・普及啓発に取り組みます。

また、観光来訪者の周遊性向上を図るため、空港や港湾、県内の周辺観光拠点から本市までのアクセス性の向上や市内各拠点を結ぶ交通の充実を図ります。

3 本計画が目指す目標

観光産業は裾野の広い産業であることから、観光振興により観光消費額を高め、他産業への波及効果を向上させることが重要です。

本市の強みである地域資源の価値を維持・向上するためには、その担い手である市民の参画と観光に対する市民の理解・参画が必要です。

また、本市の各コンテンツを活かし、来訪者の満足度をさらに高めることが、今後の観光誘客では重要になります。

これらのことを踏まえ、本計画が目指す目標として、以下のように設定し、その達成に向け、取り組みをすすめます。

①観光消費額・宿泊数を高める

宿泊、食事、土産に係る観光消費額を高めることで、市内他産業への経済的な貢献を目指します。

また、本市の特徴的な歴史文化や自然のほか、スポーツや県内有数の魅力的な施設等、官民連携により滞在型観光を推進します。

指標	現状	目標値（令和8年度）	評価方法
観光客一人当たりの消費額	【平成30年度調査】 （県外観光客） 28,050円	（県外観光客） 35,000円	アンケート調査により把握
主要ホテル延べ宿泊数	【令和2年度調査】 110,730人	388,000人	

②観光客の満足度・市民の理解度を高める

観光に対する観光客の満足度および市民の理解度を高めることにより、観光誘客拡大および観光の持続可能な発展を目指します。特に市民の理解度が低くなっている状況にあることから、観光に関する機運醸成に取り組みます。

指標	現状	目標値（令和8年度）	評価方法
市内滞在中の観光客満足度	【令和2年度調査】 大変満足、ほぼ満足と回答した割合 （合計 90%）	大変満足、ほぼ満足と回答した割合 （合計 98%）	来訪者アンケート調査により把握
観光に対する市民理解度	【令和3年度調査】 大変満足、満足、やや満足と回答した割合 （合計 30.6%）	大変満足、満足、やや満足と回答した割合 （合計 50%）	市民アンケート調査により把握

I 魅力的な観光資源を生かした観光振興

① スポーツツーリズム／スポーツコンベンションの推進

①-1 沖縄アリーナの利活用促進

沖縄アリーナについては、スポーツや音楽等のエンターテインメント性を活かし、県内外からの誘客を図ります。

現在、開催が決定されている「FIBAバスケットボールワールドカップ2023」をはじめ、全国・世界規模のスポーツ興行、有名アーティストによるアリーナツアーを誘致するとともに、地域や関係団体等と連携し、周辺地域の賑わい創出を図ります。

また、MICEの誘致に取り組むとともに、ビフォーMICE／アフターMICEにおいて、市内における宿泊や飲食を促すなど、地域経済の活性化を図ります。

①-2 スポーツによる誘客拡大および交流促進

本市をホームタウンとする「FC琉球」「琉球ゴールデンキングス」、サブホームタウンとする「パナソニックパンサーズ」、キャンプ地とする「広島東洋カープ」と連携した観光振興に向け、周辺地域への誘客や交流イベント等により応援機運の醸成に取り組みます。

また、沖縄県総合運動公園、コザ運動公園の活用促進に向け、受入基盤の整備やサービスの充実を図り、県内外からプロスポーツ・アマチュアスポーツのキャンプや合宿等の誘致に取り組むとともに、注目されている空手やeスポーツに関するイベントの誘致等に向けた取り組みについて、地域と連携して推進するなど、スポーツがもつ魅力を活かした観光誘客に取り組んでまいります。

さらに、国民体育大会の誘致・競技の受け入れを視野に庁内関係部局や関係事業者等と連携し、受け入れ体制構築等に取り組みます。

①-3 モータースポーツの振興

(仮称) 沖縄サーキットの実現に向け、モータースポーツマルチフィールド沖縄の活用を推進し、ファン層の拡大および人材の育成を図るとともに、「KOZA MOTOR SPORT FESTIVAL」を開催するなど、モータースポーツの振興による機運醸成を図ります。

②特色ある文化の価値醸成および誘客促進

②-1 エイサー等の文化芸能の振興

沖縄全島エイサーまつりやエイサーナイトの開催支援に取り組むとともに、エイサー会館において、エイサー関連グッズの充実や演舞体験ができる機会を創出するなど、エイサーを活かした観光誘客に取り組みます。

また、琉球舞踊等の伝統芸能や本市の独特の文化に、気軽に触れ親しみ、交流するまちづくりに取り組みます。

②-2 独自の音楽文化を活かしたまちづくり

本市独自の魅力的な音楽文化を活用した観光誘客を図るため、沖縄アリーナやミュージックタウン音市場を活用した音楽イベントの誘致に取り組むとともに、市内の民謡酒場やライブハウス等と連携した誘客に取り組みます。

②-3 ものづくり産業を活かした観光振興

国の伝統的工芸品である知花花織の魅力を県内外に発信するとともに、エイサーやスポーツ等の関連団体と連携した活用に向けた検討をすすめます。

また、沖縄市工芸産業振興会のコザ工芸館「ふんどう」の運営支援をおこなうとともに、工芸フェアの開催を支援するなど、県や関係機関と連携し、本市の工芸品の魅力や情報を発信します。

②-4 歴史文化や自然等の観光資源の活用

国指定名勝アマミクヌムイに追加指定された越来グスクをはじめ、本市の貴重な文化財について、関係機関・関係団体等と連携し、活用に向けた検討をすすめます。

戦後文化資料展示館「ヒストリート」については、常設展示や企画展の充実を図るとともに、各展示の多言語化等に取り組みます。

また、東南植物楽園や東海岸域等の沖縄独特の自然を感じられる施設や地域を活かした誘客促進に取り組むとともに、自然等に触れながら医療サービスを受けることができる医療ツーリズムによる誘客を図ります。

沖縄市の特徴的な街並みや歴史文化を活用した映画撮影誘致を図るとともに、ロケ地を利用したフィルムツーリズムを推進します。

③中心市街地の活性化

③-1 中心市街地における賑わい創出

中心市街地のさらなる魅力向上を図るため、新規出店等の店舗改修を支援するとともに地域コミュニティの強化を促進します。

また、沖縄アリーナや沖縄こどもの国等の集客施設からの周遊による誘客拡大を図るため、地域と連携し、イベントの開催やプロモーションの支援に取り組みます。

④観光資源の魅力向上

④-1 沖縄こどもの国の魅力向上

県内唯一の本格的な動物園「沖縄こどもの国」のさらなる魅力向上を図るため、施設区域の拡張整備をおこなうとともに、新たなコンテンツを創出し、さらなる誘客拡大を図るなど、日本一ユニークな動物園の実現に向けて取り組みをすすめます。

また、中心市街地や沖縄アリーナなど、周辺地域や関係団体等と連携し、市内の周遊を促進します。

④-2 周遊ルートによる滞在促進

越来グスクやコザ十字路歴史絵巻、戦後文化資料展示館「ヒストリート」など、沖縄の歴史的・文化的背景をたどることのできる周遊ルート、沖縄アリーナや沖縄こどもの国、東南植物楽園やプラザハウスショッピングセンターなど、官民連携による魅力的な観光資源を活用した周遊ルートなど、近隣の市町村と連携も視野に取り組みます。

また、関係団体や関係事業者と連携し、ツアーの商品化に向け取り組みます。

④-3 観光商品の開発および魅力向上

伝統工芸・エイサーおよび本市を拠点とするプロスポーツチーム等の地域資源を活用した商品開発や観光関連産業との連携促進、沖縄市産業まつり等の開催支援等により、ものづくり産業の振興を図るとともに、関係団体等と連携した市産品のPRにより、沖縄市ブランドの確立や販路拡大に取り組みます。

④-4 MICEや大規模イベントの活用

市内の施設を活用したMICEや大規模イベントの誘致・誘客を図るとともに、ビフォーMICE／アフターMICEにおいて、市内各種コンテンツへの周遊を促進し、経済的波及を図ります。

④-5 東部海浜開発地区（潮乃森）の活用

スポーツコンベンション拠点の形成を目指す潮乃森については、東海岸域における地理的特性を活かし、市民も利用できるレクリエーション活動の場の創出や新たなスポーツの展開も視野に国際・全国的なスポーツ大会の誘致、スポーツキャンプの利活用など、官民連携により魅力向上に取り組みます。

また、賑わいの創出やユニバーサルデザインに配慮したロングビーチおよび海浜緑地の一体的な整備、潮乃森の魅力内外に情報発信するなど、官民連携によりビーチフロント観光拠点の形成による滞在型観光を目指すとともに、スーパーヨットの寄港に向けた環境整備や脱炭素化等に取り組みます。

⑤産業連携による付加価値向上

⑤-1 農水産業の振興

小菊、びわ、マンゴー、食用菊等の農作物のほか、和牛、豚、乳牛、採卵鶏等の持続的な生産振興に向けて取り組むとともに、高付加価値化やブランド化に取り組む農業者を支援します。

また、持続可能な水産業の振興に向けて収益性を高める取り組みを支援します。

⑤-2 食のブランディング

沖縄市料理飲食業組合や農水産業関連事業者等と連携し、本市が有する独特な食文化のブランド化を推進します。

また、リピーター客の獲得に向け、商品の魅力向上とともに、生産から供給まで一連のプロセスを構築することで、市内における経済的循環を図ります。

⑤-3 他産業連携による新たな価値創出

スポーツ産業をコンテンツとした観光振興など、観光産業と他産業との連携を推進することで、これまでになかった付加価値を生み出し、新たな観光需要の創出を図ります。

他産業との連携については、観光情報誌への掲載や各種SNS等により、県内外に情報発信することで、観光産業に関する意識の醸成を図ります。

II 社会情勢の変化に対応した観光振興

①新たな生活様式に対応した観光振興

①-1 ワークーション等による観光誘客

テレワークの普及により働き方が多様化していることを踏まえ、ワークーションやブレジャー等の仕事と休暇を組み合わせた滞在型旅行を、「新たな旅のスタイル」として普及啓発するとともに、ワークーション環境の整備を促進することで新たな旅行需要の獲得に取り組みます。

①-2 施設の感染対策を踏まえたプロモーション

ウィズコロナ・アフターコロナの観光需要回復に向けて、観光関連事業者の感染対策への意識醸成とともに、観光ポータルサイトや観光関連事業者のサイト等により、県内外に情報を発信し、安全・安心な観光地づくりを推進します。

②観光DXの推進によるサービス変革

②-1 ICTを活用した観光基盤の整備

Wi-Fi環境の整備やインターネット等を活用した情報発信、各種データの収集・分析など、ICTを活用した効果的な観光振興に取り組むとともに、有識者や観光関連事業者等と連携し、新たなICT利活用について検討をすすめます。

②-2 地域へのICT活用促進

観光客の趣味嗜好に関する着地型の情報発信に向けた検討をすすめるとともに、インバウンドの誘客を見据えたキャッシュレスの導入促進など、地域におけるICT利活用に向け、官民連携により推進します。



③観光危機管理による安全・安心な観光地形成

③-1 観光危機管理計画の実用

安全・安心な観光地づくりを推進するため、減災対策、災害時の対応および災害後の復旧について定める「観光危機管理計画」に基づき、庁内関係部署や観光関連事業者と連携し、観光危機に対応するための体制を構築します。

③-2 観光危機に対する地域への意識啓発

観光関連事業者等を対象とした訓練やセミナーを実施するなど、観光危機管理に関する機運醸成を図るとともに、観光危機管理に関する対応マニュアルの普及に取り組みます。

Ⅲ 戦略的な地域マネジメントによる観光振興

①統計データを踏まえた観光振興

①-1 マーケティングの強化

観光客や観光産業における現状や課題を把握・分析し、施策への反映や効果検証をおこないます。観光に対する、市民、来訪者および事業者の満足度向上に向け、ビッグデータの活用やICTを活用した情報収集等に取り組みます。

また、観光コンテンツに応じて、富裕層や修学旅行生等のターゲットを明確にするなど、効果的な観光振興に取り組みます。

①-2 観光プロモーション活動

沖縄市観光物産振興協会と連携した内外への情報発信とともに、観光情報誌や「コザの裏側」、「コザウェブ」等を活用し、効果的なプロモーションに取り組みます。

また、新型コロナウイルス感染症等の流行状況の動向に留意し、インバウンド獲得を見据えた観光プロモーションに取り組みます。

さらに、ターゲット層によってプロモーション方法を検討するなど、効果的な情報発信をおこないます。

①-3 観光統計データの活用促進

観光統計データの活用により、戦略的・効果的な施策展開・効果検証を図るとともに、県との連携のもと、統計データを公表するなどにより、関連事業者における統計データの活用促進に向けた取り組みをすすめます。

②観光関連産業の持続的な発展促進

②-1 観光業および周辺産業の誘致・人材育成

観光に関連する各業種において、従事者の対応力や知識・技術の習得のための研修をおこなうとともに、観光関連産業へのキャリアデザインを図るなど、官民連携による人材育成に取り組みます。

また、県や関係機関等と連携し、人材のスキルアップを支援する取り組みについて検討をすすめるとともに、観光関連施設の誘致に取り組みます。

②-2 市民の観光に関する理解

本市の観光に関する理解の促進や観光施策への参画を促進するため、地域との意見交換の場をつくとともに、市民に広く、観光関連事業の方向性等を公表するなど、市民協働による観光振興に取り組みます。

③周辺自治体との広域連携

③-1 観光における中部圏域の市町村との連携

中部圏域市町村との連携による、各市町村の強みを活かした観光ルートの構築やプロモーション活動に向け検討をすすめます。

また、中部広域市町村圏事務組合や沖縄市観光物産振興協会、関係市町村との連携強化を図り、クルーズ船の受け入れおよび周辺地域への回遊促進に向け、検討をすすめます。

④観光環境の基盤整備

④-1 ハードとソフト両面の観光バリアフリー促進

庁内関係部局や沖縄市観光物産振興協会等と連携し、観光関連事業者への観光バリアフリーに関する意識啓発およびユニバーサルデザインの導入を促進するなど、市内観光施設における心のバリアフリー認定制度の普及に向け取り組みます。

また、配慮が必要な来訪者へのサービス向上を図るため、観光関連事業者を対象に障がい有する来訪者への対応や外国人対応に関するセミナーを開催します。

④-2 公共交通・二次交通・交通結節の充実

県内の観光拠点から本市までのアクセス性向上に向け、路線バス等の活用促進や循環バスの運行支援等により、公共交通の活性化に取り組むとともに、交通結節点や高速道路インターチェンジの整備を促進します。

また、国や県と連携し、ICTを活用した駐車場の利便性向上および観光型MaaSやシェアリングモビリティの導入に向け検討をすすめるなど、二次交通の充実を図ります。


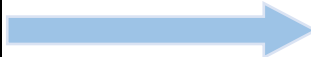
I 魅力的な観光資源を生かした観光振興

①スポーツツーリズム／スポーツコンベンションの推進

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
① 1 沖縄アリーナの 利活用促進	<p>・沖縄アリーナ推進事業 県内外から人々が集う観光誘客施設とするため、駐車場等を含めた周辺環境の整備をすすめていく。</p> <p>・沖縄アリーナ運営費 沖縄アリーナを適正に維持管理することで、これまでに本市で開催されなかったイベントを誘致し、地域活性化に繋げていく。</p> <p>・F I B Aワールドカップ 2023 機運醸成事業 F I B Aバスケットボールワールドカップ 2023 開催に向けた機運醸成や受入体制の構築とともに、開催機会を活かしたスポーツツーリズムの高付加価値化を図っていく。</p>	<p>・沖縄アリーナ運営費 沖縄アリーナを適正に維持管理することで、これまでに本市で開催されなかったイベントを誘致し、地域活性化に繋げていく。</p> <p>・F I B Aワールドカップ 2023 機運醸成事業 F I B Aバスケットボールワールドカップ 2023 開催に向けた機運醸成や受入体制の構築とともに、開催機会を活かしたスポーツツーリズムの高付加価値化を図っていく。</p>	<p>・沖縄アリーナ運営費 沖縄アリーナを適正に維持管理することで、これまでに本市で開催されなかったイベントを誘致し、地域活性化に繋げていく。</p>
	<p>・観光宣伝事業 観光関連団体との連携により、各種メディアや WEB・SNS を活用したプロモーション等による県内外での観光 PR 活動取り組む。 また、F I B Aバスケットボールワールドカップ 2023 を見据えたまちなかへの周遊促進を図るためのプロモーション活動に取り組む。</p> <p>・観光振興事業 ビフォーM I C E / アフターM I C E による市内観光関連事業者への経済波及効果の拡大を図るため、M I C E開催前後の市内における周遊を促進する。</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>

令和7年度	令和8年度	施策の目標			担当課 <関係者>
		項目	現状値	目標値	
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	沖縄アリー ナの稼働率	—	38.9%	プロジェクト推進室 (沖縄市経済文化部観光 スポーツ振興課 沖縄市建設部建築・公園 課 沖縄アリーナ指定管理者 コザ運動公園指定管理者 沖縄バスケットボール株 式会社 公益社団法人ジャパン・ プロフェッショナル・バ スケットボールリーグ 公益財団法人日本バスケ ットボール協会)
		FIBA ワー ルドカ ップ 2023 観 客動 員者数	—	16 万人	
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	観光ポー タルサイ ト「コザ ウェブ」 のPV数	1,203,518 PV数	1,800,000 PV数	観光スポーツ振興課 (沖縄市経済文化部各 課、プロジェクト推進室、 沖縄市観光物産振興協 会、コザ商店街連合会)
		プロモー ション 番組 「コザの 裏側」の 視聴率	3.6%	4.2%	

①スポーツツーリズム／スポーツコンベンションの推進

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
① ー 2 スポーツによる誘客拡大および交流促進	<p>・スポーツコンベンション推進事業 関係団体との連携によりプロスポーツ・アマチュアスポーツの合宿や大会等の誘致受入に向けたプロモーション活動や、プロスポーツチームの公式戦に来訪された方を、周辺地域への周遊促進に取り組む。 また、沖縄市観光物産振興協会にスポーツコミッションを設置し、スポーツの産業化に向けた方向性を検討する。</p> <p>・スポーツツーリズム推進事業 スポーツ資源と地域資源を掛け合わせたツアーを造成するとともに、沖縄市観光物産振興協会と連携し、旅行商品化に向け取り組む</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p> 	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>
① ー 3 モータースポーツの振興	<p>・(仮称) 沖縄サーキット整備事業 本格的サーキットである「(仮称) 沖縄サーキット」の実現を目指し、機運醸成等に係るイベントの開催や、施設整備に係る計画策定業務等を実施する。</p> <p>・モータースポーツマルチフィールド沖縄運営費 モータースポーツマルチフィールド沖縄を適正に管理運営することで、各モータースポーツ競技利用の促進による県内モータースポーツの聖地化を図るとともに、交通安全普及啓発、地域活性化等に取り組む。</p>	<p>・(仮称) 沖縄サーキット整備事業 本格的サーキットである「(仮称) 沖縄サーキット」の実現を目指し、機運醸成等に係るイベントの開催や、計画策定・施設整備等に取り組む。</p> <p>・モータースポーツマルチフィールド沖縄運営費 モータースポーツマルチフィールド沖縄を適正に管理運営することで、各モータースポーツ競技利用の促進による県内モータースポーツの聖地化を図るとともに、交通安全普及啓発、地域活性化等に取り組む。</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p> 



令和7年度	令和8年度	施策の目標			担当課 <関係者>
		項目	現状値	目標値	
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	スポーツ合 宿受入団体 数	177 団体	356 団体	観光スポーツ振興課 (沖縄市観光物産振興協 会 コザ運動公園指定管理者 FC 琉球、琉球ゴールデ ンキングス、パナソニック パンサーズ、広島東洋カ ープ)
		スポーツツ ーリズムツ アーのコン テンツ数	5 件	15 件	
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	コザモータ ースポーツ フェスティ バルイベン ト来場者数	42,000 人	42,000 人	プロジェクト推進室 (沖縄市経済文化部観光 スポーツ振興課 沖縄県警察 JAF (日本自動車連盟) 一般社団法人チームオキ ナワほか、各モータース ポーツ競技団体 モータースポーツ・自動 車関連産業に係る民間企 業等)

令和7年度	令和8年度	施策の目標			担当課 <関係者>
		項目	現状値	目標値	
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	エイサー関 連イベント 観客動員数 (沖縄全島 エイサーま つり、エイ サーナイ ト)	0人 (新型コロ ナにより未 開催) 参考値：令 和元年度実 績 沖縄全島エ イサーまつ り：35万人 エイサーナ イト：9,800 人	359,800人	文化芸能課 (・市観光スポーツ振興 課、市教育委員会生涯学 習課 ・沖縄市青年団協議会、 沖縄市観光物産振興協 会、沖縄全島エイサーま つり実行委員会)





②特色ある文化の価値醸成および誘客促進

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
② 1 2 独自の音楽文化を活かしたまちづくり	<p>・ミュージックタウン音市場 運営管理費 音楽によるまちづくりの拠点施設であるミュージックタウン音市場の運営管理およびミュージックタウン音市場15周年記念事業を実施する。</p> <p>・音楽資源活用事業 音楽・芸能など文化資源の発掘・収集・常設展示をおこなう。</p> <p>・音楽のまち推進事業 本市の音楽関連情報の総合的な発信や、音楽関連イベント等を開催する。</p>	<p>・ミュージックタウン音市場 運営管理費 音楽によるまちづくりの拠点施設であるミュージックタウン音市場の運営管理をおこなう。</p> <p>・音楽資源活用事業 音楽・芸能など文化資源の発掘・収集・常設展示をおこなう。</p> <p>・音楽のまち推進事業 本市の音楽関連情報の総合的な発信や、音楽関連イベント等を開催する。</p>	<p>・ミュージックタウン音市場 運営管理費 音楽によるまちづくりの拠点施設であるミュージックタウン音市場の運営管理をおこなう。</p> <p>・音楽資源活用事業 音楽・芸能など文化資源の発掘・収集・常設展示および沖縄市音楽資料館おんがく村の10周年記念事業を実施する。</p> <p>・音楽のまち推進事業 本市の音楽関連情報の総合的な発信や、音楽関連イベント等を開催する。また令和7年度に実施予定であるピースフルラブ・ロックフェスティバル第40回記念に向けた企画検討会議等をおこなう。</p>
② 1 3 ものづくり産業を活かした観光振興	<p>・伝統工芸産業支援事業 国の伝統工芸品である知花織の魅力を県内外に発信するとともに、産業化支援を目的とし、織り手の育成による生産基盤強化を図るとともに、エイサーやスポーツ等市内の観光資源を活用した商品の検討をおこなう。</p> <p>・工芸による街づくり事業 市内工芸品の普及、販路拡大を図るためコザ工芸館「ふんどう」の運営支援をおこなうとともに、工芸フェアを開催するなど、本市の工芸品の魅力や情報を発信に取り組む。</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>


令和7年度	令和8年度	施策の目標			担当課 <関係者>
		項目	現状値	目標値	
<p>・ミュージックタウン音市場運営管理費 音楽によるまちづくりの拠点施設であるミュージックタウン音市場の運営管理をおこなう。</p> <p>・音楽資源活用事業 音楽・芸能など文化資源の発掘・収集・常設展示をおこなう。</p> <p>・音楽のまち推進事業 本市の音楽関連情報の総合的な発信や、音楽関連イベント等を開催する。</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないません)</p> 	音楽関連イベント来場者数	128,504人	130,300人	<p>文化芸能課</p> <p>(ミュージックタウン音市場指定管理者 コザ・ミュージックタウン管理組合 おきなわ音楽月間受託業者 沖縄市音楽資料館おんがく村受託業者)</p>
<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p> 	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないません)</p>	工芸館ふんどうにおける工芸品等の売上	3,000千円	4,000千円	<p>商工振興課</p> <p>(知花花織事業協同組合 工芸産業振興会 沖縄市工芸フェア実行員会 市内で活動するプロスポーツチーム)</p>
		工芸フェアにおける工芸品等の売上	7,500千円	8,000千円	

②特色ある文化の価値醸成および誘客促進

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
② 1 4 歴史文化や自然等の観光資源の活用	<p>・文化財整備事業 名勝アマミクヌムイ「越来グスク」の保護のため、整備等について取り組む。</p> <p>・文化財調査普及事業 文化財保護を推進するため、調査や文化財指定等を実施する。</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p> 	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>
	<p>・戦後文化資料等展示事業 沖縄市の戦後文化について、沖縄市戦後文化資料展示館「ヒストリート」において、常設展示をおこなうとともに、修学旅行生の受け入れをおこなうなど、情報発信に取り組む。</p> <p>・市史編集事業 沖縄市の歴史を考古・民俗・戦争・戦後史から近現代の古文書等、さまざまな分野にわたり、市史資料を駆使して体系的に編集する。</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p> 	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>
	<p>・観光宣伝事業 観光関連団体との連携により、沖縄市GOやコザウェブ等、各種メディアやWEB・SNSを活用したプロモーション等による県内外での観光PR活動を実施するとともに、医療ツーリズムおよびフィルムツーリズムを推進する。 また、戦後文化資料展示館「ヒストリート」や、日本夜景遺産として県内初認定された「東南植物楽園」の情報発信等による観光誘客を図る。</p>	<p>・観光宣伝事業 観光関連団体との連携により、沖縄市GOやコザウェブ等、各種メディアやWEB・SNSを活用したプロモーション等による県内外での観光PR活動を実施するとともに、医療ツーリズムおよびフィルムツーリズムを推進する また、戦後文化資料展示館「ヒストリート」や、日本夜景遺産として県内初認定された「東南植物楽園」の情報発信等による観光誘客を図る。</p>	<p>・観光宣伝事業 観光関連団体との連携により、沖縄市GOやコザウェブ等、各種メディアやWEB・SNSを活用したプロモーション等による県内外での観光PR活動を実施するとともに、医療ツーリズムおよびフィルムツーリズムを推進する また、戦後文化資料展示館「ヒストリート」や、日本夜景遺産として県内初認定された「東南植物楽園」の情報発信等による観光誘客を図る。 さらに、東部海浜開発地区(潮乃森)のビーチなど、観光資源の情報発信をおこなう。</p>

令和7年度	令和8年度	施策の目標			担当課 <関係者>
		項目	現状値	目標値	
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	国・県・市指 定・国登録 文化財数	31 件	37 件	郷土博物館 (生涯学習課、文化芸能 課、観光スポーツ振興課)
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	沖縄市戦後 文化資料展 示館「ヒス トリート」 への来館者 数	6,358 人	20,000 人	総務課市史編集担当 (沖縄市観光物産振興協 会)
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	観光ポータ ルサイト 「コザウェ ブ」のPV数	1,203,518 PV数	1,800,000 PV数	観光スポーツ振興課 (・建設部計画調整課 ・沖縄県倉敷ダム管理所 ・沖縄県総合運動公園指 定管理者 ・沖縄市観光物産振興協 会、コザホテル組合 ・東南植物楽園) 総務課市史編集担当
		プロモーシ ョン番組 「コザの裏 側」の視聴 率	3.6%	4.2%	(沖縄市観光物産振興協 会)



③中心市街地の活性化

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
③ 1 中心市街地における賑わい創出	<p>・商店街等店舗改修工事支援事業 商店街等の空き店舗への新規出店や既存店舗のリフォーム等に対し支援することにより、空き店舗の解消と魅力的な商業空間の形成を図り、商環境の向上および商店街等の活性化、中心市街地の賑わい創出に取り組む。</p> <p>・商店街等賑わい創出事業 商店街におけるイベント事業等を支援することにより、商店街独自の魅力を創出、交流人口の増加、賑わいの創出など、商店街の活性化に取り組む。</p> <p>・中心市街地活性化調査検討業務 新たな沖縄市中心市街地活性化基本計画の策定業務。</p>	<p>・商店街等店舗改修工事支援事業 商店街等の空き店舗への新規出店や既存店舗のリフォーム等に対し支援することにより、空き店舗の解消と魅力的な商業空間の形成を図り、商環境の向上および商店街等の活性化、中心市街地の賑わい創出に取り組む。</p> <p>・商店街等賑わい創出事業 商店街におけるイベント事業等を支援することにより、商店街独自の魅力を創出、交流人口の増加、賑わいの創出など、商店街の活性化に取り組む。</p> <p>・(仮称)沖縄市中心市街地活性化基本計画 新基本計画等に基づき、中心市街地における賑わい創出に取り組む。</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p> 

令和7年度	令和8年度	施策の目標			担当課 <関係者>
		項目	現状値	目標値	
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	中心市街地 商店街にお ける店舗改 修支援	29 店舗	30 店舗 (150 店舗/5 年間)	商工振興課 (コザ商店街連合会)
		アリーナ等 と連携した イベント開 催への支援	0 回	2 回 (10 回 /5 年間)	




④観光資源の魅力向上

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
④ 1 沖縄こどもの国の魅力向上	<p>・沖縄こどもの国整備事業 県内唯一の本格的な動物園を有する沖縄こどもの国の整備拡充をすすめるとともに、動物舎や便益施設等を整備し、観光誘客および人材育成施設としての充実を図る。また、拡張予定地を含めた第2次施設整備計画を策定する。</p> <p>・沖縄こどもの国推進事業 県内外からの観光誘客に向けた魅力あるコンテンツを検討するため、第2次ソフト関連事業計画を策定する。</p>	<p>・沖縄こどもの国整備事業 県内唯一の本格的な動物園を有する沖縄こどもの国の整備拡充をすすめるとともに、第2次施設整備計画に基づき施設を整備し、観光誘客および人材育成施設としての充実を図る。</p> <p>・沖縄こどもの国推進事業 第2次ソフト関連事業計画に基づき、各種ソフト事業を展開し、観光誘客に寄与する。</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p> 
④ 1 2 周遊ルートによる滞在促進	<p>・観光宣伝事業 歴史的・文化的背景について、ストーリー性を付加価値として活かした観光コンテンツや本市の恵まれたスポーツ環境を活かした観光コンテンツの造成に取り組むとともに、関係機関と連携し、プロモーション活動および商品化に向け取り組む</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p> 	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>
④ 1 3 観光商品の開発および魅力向上	<p>・沖縄市産業まつり実行委員会補助金 沖縄市産業まつりを支援し、生産および2次加工される物産を一堂に展示、即売し、多くの方々に市産品の素晴らしさをPRすることで、沖縄市ブランドの確立や販路拡大に取り組むとともに、本市の魅力向上に資する伝統工芸・エイサーおよびプロスポーツチーム等を活用した商品等にスポットが当たる仕組みを検討する。</p>	<p>・沖縄市産業まつり実行委員会補助金 沖縄市産業まつりを支援し、生産および2次加工される物産を一堂に展示、即売し、多くの方々に市産品の素晴らしさをPRすることで、沖縄市ブランドの確立や販路拡大に取り組むとともに、本市の魅力向上に資する伝統工芸・エイサーおよびプロスポーツチーム等を活用した商品等について、沖縄市観光物産振興協会等と連携したPRをおこなう。</p>	<p>・沖縄市産業まつり実行委員会補助金 沖縄市産業まつりを支援し、生産および2次加工される物産を一堂に展示、即売し、多くの方々に市産品の素晴らしさをPRすることで、沖縄市ブランドの確立や販路拡大に取り組むとともに、本市の魅力向上に資する伝統工芸・エイサーおよびプロスポーツチーム等を活用した商品等について、沖縄市観光物産振興協会等と連携し、販路拡大に取り組む。</p>

令和7年度	令和8年度	施策の目標			担当課 <関係者>
		項目	現状値	目標値	
継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)	継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)	沖縄こどもの国の来園者数 (R6年度)	32万人	75万人	プロジェクト推進室 (沖縄こども未来ゾーン指定管理者)
継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)	継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)	観光ポータルサイト「コザウェブ」のPV数	1,203,518 PV数	1,800,000 PV数	観光スポーツ振興課 (・経済文化部各課、プロジェクト推進室 ・市内観光関連施設の指定管理者 ・沖縄市観光物産振興協会、沖縄商工会議所、コザ商店街連合会 ・中部広域市町村圏事務組合)
		プロモーション番組「コザの裏側」の視聴率	3.6%	4.2%	
継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)	継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)	沖縄市産業まつりにおける物産等の売上	10,000千円	15,000千円	商工振興課 (沖縄市産業まつり実行員会 沖縄市観光物産振興協会 沖縄商工会議所)

④観光資源の魅力向上

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
④ ー 4 M I C E や 大 規 模 イ ベ ン ト の 活 用	<p>・観光振興事業 ビフォーMICE／アフターMICEによる市内観光関連事業者への経済波及効果の拡大を図るため、MICE開催前後の市内における周遊を促進する</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p> 	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>
④ ー 5 東 部 海 浜 開 発 地 区 (潮 乃 森) の 活 用	<p>・東部海浜開発地区企業誘致推進事業 スポーツと健康・医療を軸とした長期滞在観光地の形成に向け、内外の企業に対して情報発信・収集に取り組むとともに、本地区の価値の向上を図り、企業誘致を推進する。</p> <p>・東部海浜地区開発事業 人工ビーチの部分使用に向けた整備をすすめるとともに、ビーチスポーツ大会誘致に向けた情報収集を図る。 多目的広場における新たなスポーツの展開を図るため、施設整備内容について調査研究を図る。</p>	<p>・東部海浜開発地区企業誘致推進事業 スポーツと健康・医療を軸とした長期滞在観光地の形成に向け、内外の企業に対して情報発信・収集に取り組むとともに、本地区の価値の向上を図り、企業誘致を推進する。</p> <p>・東部海浜地区開発事業 人工ビーチの部分使用に向けた整備をすすめるとともに、ビーチスポーツ大会誘致に向けた情報収集を図る。 多目的広場における新たなスポーツの展開を図るため、施設整備内容について調査研究を図る。</p>	<p>・東部海浜開発地区企業誘致推進事業 スポーツと健康・医療を軸とした長期滞在観光地の形成に向け、内外の企業に対して情報発信・収集に取り組むとともに、本地区の価値の向上を図り、企業誘致を推進する。</p> <p>・東部海浜地区開発事業 人工ビーチの部分使用の運営をおこなうとともに、ビーチスポーツ大会誘致に向けた情報収集を図る。 多目的広場における新たなスポーツの展開を図るため、施設整備内容について調査研究を図る。</p>

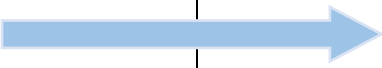
令和7年度	令和8年度	施策の目標			担当課 <関係者>
		項目	現状値	目標値	
継続して実施 （必要に応じて検証・見直しをおこないます）	継続して実施 （必要に応じて検証・見直しをおこないます）	M I C Eからの経済波及効果を図る事業の実施	未実施	実施	観光スポーツ振興課 （沖縄市観光物産振興協会、沖縄市経済文化部各課、市内観光関連事業者）
・東部海浜開発地区企業誘致推進事業 スポーツと健康・医療を軸とした長期滞在観光地の形成に向け、内外の企業に対して情報発信・収集に取り組みとともに、本地区の価値の向上を図り、企業誘致を推進する。	・東部海浜開発地区企業誘致推進事業 スポーツと健康・医療を軸とした長期滞在観光地の形成に向け、内外の企業に対して情報発信・収集に取り組みとともに、本地区の価値の向上を図り、企業誘致を推進する。	内外の企業に対して情報発信・情報収集	実施	継続実施	計画調整課 （国、県、市（建設部、経済文化部）
・東部海浜地区開発事業 人工ビーチの部分使用の運営および検証をおこなうとともに、ビーチスポーツ大会誘致に向けた情報収集を図る。 多目的広場における新たなスポーツの展開を図るため、施設整備内容について調査研究を図る。	・東部海浜地区開発事業 人工ビーチの部分使用の運営および検証をおこなうとともに、ビーチスポーツ大会誘致に向けた情報収集を図る。 多目的広場における新たなスポーツの展開を図るため、施設整備内容について調査研究を図る。 関係機関と連携して国際大会や国内大会の誘致に向けた調査研究を図る。	人工ビーチの部分使用および海浜緑地等の賑わい創出に向けた関係機関調整および情報発信・情報収集	実施	継続実施 人工ビーチの部分使用	地域・関係団体
		潮乃森でのスポーツの展開に関する調査研究	実施	継続実施	

⑤産業連携による付加価値向上

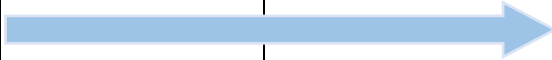



	令和4年度	令和5年度	令和6年度
⑤ 1 農水産業の振興	<p>・耕種農業生産振興対策事業補助金 優良苗木への更新やビニールハウス等の補助をおこない作物の高品質化を促進する。また、先進地等の事例・手法等をセミナーを通じて市内農家等へ発信し、農家の農家の意識向上に取り組む。</p> <p>・畜産生産奨励事業補助金 優良素牛、種豚等の購入支援や、子牛生産に対し奨励金を交付し、肉質の改良や乳量の増産を促し、市内畜産物の高品質化を促進する。</p> <p>・水産業振興対策事業 漁業者に対し、漁具や漁船装備品の購入補助をおこない、漁獲量の向上と経営の安定化を図るとともにウニやシャコ貝等の種苗放流により、水産資源の保全・回復を図る。</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>



令和7年度	令和8年度	施策の目標			担当課 <関係者>
		項目	現状値	目標値	
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直し をおこないま す)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直し をおこないま す)	農業、畜産 業、水産業の 各生産量の 増加率	マンゴー生産量(R2)	令和8年度 までに5% 増	農林水産課 (沖縄県農業協同組 合、沖縄県花卉園芸 農業協同組合、沖縄 市漁業協同組合、沖 縄市観光物産振興協 会、沖縄市経済文化 部各課等)
			26,484kg		
			びわ生産量(R2)		
			2,370kg		
			小菊生産量(R2)		
			11,171千本		
			肉用牛頭数(R2)		
			781頭		
乳用牛頭数(R2)					
361頭					
養豚頭数(R2)					
6,768頭					
養鶏頭羽(R2)					
94,032羽					
泡瀬漁港水揚量(R2)					
187.9t					



⑤産業連携による付加価値向上

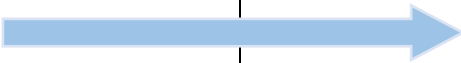

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
⑤ 1 2 食のブランディング	<p>・農水特産品アイデア創出事業 本市農産物を使い、農業者および漁業者等と学生の協同によるアイデア料理・商品を検索・発表し、本市農水産業振興に寄与する。</p> <p>・農地農業振興事業 「沖縄市人・農地プラン」に、中心となる経営体として位置付けられた農業者に対し、国・県や関係機関等と連携した総合的支援をおこない、本市農業担い手の確保や農地の効率的・有効的利用を図るとともに、補助事業の導入等、農業振興を図る。</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p> 	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>
	<p>・物産振興事業 コザスター・コザチョイス等の地域ブランドについて県内外へのPRを継続するとともに、関係団体と連携し、市産品を活用した、本市が有する独特な食文化ブランドを推進する。</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p> 	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>
	<p>・観光宣伝事業 観光関連団体との連携により、沖縄市GOやコザウェブ等、各種メディアやWEB・SNSを活用したプロモーション活動に取り組む。</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p> 	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>
⑤ 1 3 他産業連携による新たな価値創出	<p>・観光宣伝事業 観光関連団体との連携により、沖縄市GOやコザウェブ等、各種メディアやWEB・SNSを活用したプロモーション等による県内外での観光PR活動を実施する。</p> <p>・スポーツコンベンション推進事業 プロスポーツチーム等と連携し、商品開発に向け関係者との意見交換をおこなう。</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p> 	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>

令和7年度	令和8年度	施策の目標			担当課 <関係者>
		項目	現状値	目標値	
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しを おこないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しを おこないます)	ブランド化・ 高付加価値 化推進活動 件数	活動件数 (R2)2件	活動件数 延べ10件 (2件/年)	農林水産課 (沖縄県農業協同組合、 沖縄県花卉園芸農業協同 組合、沖縄市漁業協同組 合、沖縄市観光物産振興 協会、沖縄市経済文化部 各課、沖縄市農業委員会 等)
		担い手の農 地利用集積 率	集積率 (R2) 34.5%	集積率 40.0%	
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しを おこないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しを おこないます)	地域ブラン ド認定制度 の実施	実施	実施	商工振興課 (沖縄市料理飲食業組合 沖縄市観光物産振興協会 沖縄商工会議所 市内事業者 農林水産課)
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しを おこないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しを おこないます)	観光ポータ ルサイト「コ ザウェブ」の PV数	1,203,518 PV数	1,800,000 PV数	観光スポーツ振興課 (・経済文化部各課 ・沖縄市観光物産振興協 会、沖縄商工会議所)
		プロモーシ ョン番組「コ ザの裏側」の 視聴率	3.6%	4.2%	
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しを おこないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しを おこないます)	観光ポータ ルサイト「コ ザウェブ」の PV数	1,203,518 PV数	1,800,000 PV数	観光スポーツ振興課 (・経済文化部各課 ・プロジェクト推進室 ・沖縄市観光物産振興協 会、沖縄商工会議所 ・琉球ゴールデンキング ス、FC琉球、パナソニック パンサーズ、広島東洋 カープ ・東南植物楽園)
		プロモーシ ョン番組「コ ザの裏側」の 視聴率	3.6%	4.2%	

II 社会情勢の変化に対応した観光振興

①新たな生活様式に対応した観光振興

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
① 1 ワーケーション等による観光誘客	<p>・企業誘致推進事業</p> <p>テレワークの普及により注目されているワーケーションを活用することにより、本市への企業誘致・誘客を図るため、公共施設へのワーケーション環境整備に向けた取り組みをすすめる</p>	<p>・企業誘致推進事業</p> <p>テレワークの普及により注目されているワーケーションを活用することにより、本市への企業誘致・誘客を図るため、整備したワーケーション環境を活用した企業誘致、観光誘客に取り組む。</p>	<p>・企業誘致推進事業</p> <p>テレワークの普及により注目されているワーケーションを活用することにより、本市への企業誘致・誘客を図るため、整備したワーケーション環境を活用した企業誘致、観光誘客に取り組む。</p> <p>また、国等と連携し、地域におけるワーケーションの普及に向け、ワーケーション実施による効果を公表し、需要があることを地域に認知いただく取り組みなどにより、民間におけるワーケーションの環境整備を促進する。</p>
① 2 施設の感染対策を踏まえたプロモーション	<p>・観光宣伝事業</p> <p>沖縄市観光物産振興協会と連携し、感染対策認証店舗等の認証を受けた観光関連施設について、沖縄市GOやコザウェブ等、各種メディアやWEB・SNSを活用したプロモーション等により安全安心な観光地としてPRする。</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>

令和7年度	令和8年度	施策の目標			担当課 <関係者>
		項目	現状値	目標値	
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	公共施設へのワーケーション環境整備	0か所	2か所	企業誘致課 (沖縄県企業立地推進課、Workcation Week Okinawa 事務局 (ISCO)、内閣府沖縄総合事務局経済産業部商務通商課サービス産業係)
					
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	観光ポータルサイト「コザウェブ」のPV数	1,203,518 PV数	1,800,000 PV数	観光スポーツ振興課 (・経済文化部各課 ・プロジェクト推進室 ・沖縄市観光物産振興協会、沖縄商工会議所 ・琉球ゴールデンキングス、FC琉球、パナソニックパンサーズ、広島東洋カープ ・東南植物楽園)
		プロモーション番組「コザの裏側」の視聴率	3.6%	4.2%	
					

②観光 DX の推進によるサービス変革

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
②-1 ICTを活用した観光基盤の整備	<p>・観光宣伝事業 沖縄市観光物産振興協会と連携し、感染対策認証店舗等の認証を受けた観光関連施設について、沖縄市GOやコザウェブ等、各種メディアやWEB・SNSを活用したプロモーション等により安全安心な観光地としてPRする。</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>
②-2 地域へのICT活用促進	<p>・観光宣伝事業 ICTの利活用について、関係者と意見交換をおこない、今後の方向性を検討する。 観光ポータルサイト「コザウェブ」や無料Wi-Fi「コザWi-Fi」について、適切に運用し、ICT活用による観光誘客に取り組む。</p>	<p>・観光宣伝事業 ICTの利活用について、決定した方向性に基づき取り組みをすすめる</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>
	<p>・観光基盤整備事業 ICTを活用した市内来訪時の情報発信など、官民連携による実証実験をおこなうとともに、地域に効果を共有するなど、地域のICT活用促進を図る。</p>	<p>・観光基盤整備事業 官民連携による実証実験をおこなうとともに、地域に効果を共有するなど、地域のICT活用促進を図る</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>

令和7年度	令和8年度	施策の目標			担当課 <関係者>
		項目	現状値	目標値	
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	観光ポータル サイト 「コザウェブ」のPV数	1,203,518 PV数	1,800,000 PV数	観光スポーツ振興課 (・経済文化部各課 ・プロジェクト推進室 ・沖縄市観光物産振興協 会、沖縄商工会議所 ・琉球ゴールデンキング ス、FC琉球、パナソニック パンサーズ、広島東洋 カープ ・東南植物楽園)
		プロモーシ ョン番組 「コザの裏 側」の視聴 率	3.6%	4.2%	
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	観光ポータル サイト 「コザウェブ」のPV数	1,203,518 PV数	1,800,000 PV数	観光スポーツ振興課 (・経済文化部各課、プ ロジェクト推進室 ・市内観光関連施設の指 定管理者 ・沖縄市観光物産振興協 会)
		コザ Wi-Fi の利用者数	416,791	838,316	
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	官民連携に よるICT 活用実証実 験回数	1回	1回	観光スポーツ振興課 (経済文化部各課、プロ ジェクト推進室、沖縄市 観光物産振興協会、市内 観光関連事業者)




③観光危機管理による安全・安心な観光地形成

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
③ 1 観光危機管理計画の実用	<p>・地域防災対策事業 様々な災害から市民の生命財産を守るため、災害に強いまちづくりを目指す。地震や津波等の災害に備え、災害用備蓄品（食糧、飲料水、各種資機材等）の整備、避難所等への誘導標識の設置。また、市民への防災意識および地域防災力の向上のため、自主防災組織の結成および育成を推進し、防災資機材や倉庫の配備を実施する。</p> <p>観光客向けの防災情報の周知としては、市内の各主要観光施設に防災マップを配布し、防災行政無線およびHP等を使用して各種災害情報の発信をおこなう。</p>	継続して実施 （必要に応じて検証・見直しをおこないます）	継続して実施 （必要に応じて検証・見直しをおこないます）
	<p>・観光基盤整備事業 安全・安心な観光地づくりを推進するための「沖縄市観光危機管理計画」に基づき関係機関と連携し、観光客の安全性確保に向け取り組む</p>	継続して実施 （必要に応じて検証・見直しをおこないます）	継続して実施 （必要に応じて検証・見直しをおこないます）
③ 1 2 観光危機に対する地域への意識啓発	<p>・観光基盤整備事業 安全・安心な観光地づくりを推進するための「沖縄市観光危機管理計画」の普及啓発に向け、沖縄市観光物産振興協会との連携のもと、観光関連事業者向けの勉強会等を実施する。</p>	継続して実施 （必要に応じて検証・見直しをおこないます）	継続して実施 （必要に応じて検証・見直しをおこないます）

令和7年度	令和8年度	施策の目標			担当課 <関係者>
		項目	現状値	目標値	
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しを おこないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しを おこないます)	自主防災組 織結成数	31 団体	46 団体	防災課 (市内地域の自治会、観 光スポーツ振興課)
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しを おこないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しを おこないます)	観光危機管 理体制の構 築	未実施	実施	観光スポーツ振興課 (沖縄市防災課、沖縄市 観光物産振興協会、市内 観光関連事業者)
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しを おこないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しを おこないます)	観光危機管 理に関する 勉強会の開 催件数	3 回	3 回	観光スポーツ振興課 (沖縄市防災課、沖縄市 観光物産振興協会、市内 観光関連事業者)




Ⅲ 戦略的な地域マネジメントによる観光振興

①統計データを踏まえた観光振興

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①-1 マーケティングの強化	<p>・観光基盤整備事業</p> <p>携帯GPS、レンタカーGPS等のビッグデータの活用による人流把握等により、観光客の動態を調査・分析し、観光コンテンツの造成やターゲット層を検討する。</p> <p>観光客アンケート調査等を実施し、クロス集計により満足度の高いコンテンツや不満足となった原因究明・改善をおこなうことで、観光客の満足度向上に向けた取り組みにつなげる。</p> <p>継続的に調査を実施することで、施策への反映や効果検証をおこないながらPDCAを実践する。</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p> 	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>
①-2 観光プロモーション活動	<p>・観光宣伝事業</p> <p>観光関連団体との連携により、各種メディアやWEB・SNSを活用したプロモーション等による県内外での観光PR活動を実施し、また、観光ガイド養成講座やモニターツアーを実施し、誘客受入体制の整備を図る。</p> <p>・観光基盤整備事業</p> <p>観光客の動向実態を調査・分析し、結果を観光関連団体と共有することにより、効果的なマーケティングを実施する。</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p> 	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>
①-3 観光統計データの活用促進	<p>・観光基盤整備事業</p> <p>沖縄県と連携し、調査分析した観光統計データの公表に向けた検討をすすめるとともに、民間事業者が活用できるような勉強会等を開催し、活用支援をおこなう。</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p> 	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>

令和7年度	令和8年度	施策の目標			担当課 <関係者>
		項目	現状値	目標値	
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	観光統計調 査の実施	実施	継続実施	観光スポーツ振興課 (沖縄市観光物産振興協 会)
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	観光ポータ ルサイト 「コザウェ ブ」のPV数	1,203,518 PV数	1,800,000 PV数	観光スポーツ振興課 (・経済文化部各課、プ ロジェクト推進室 ・市内観光関連施設の指 定管理者 ・沖縄市観光物産振興協 会、沖縄商工会議所、コ ザ商店街連合会 ・琉球ゴールデンキング ス、FC琉球、パナソニッ クパンサーズ、広島東洋 カープ ・東南植物楽園)
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	プロモーシ ョン番組 「コザの裏 側」の視聴 率	3.6%	4.2%	観光スポーツ振興課 (・経済文化部各課 ・沖縄市観光物産振興協 会、沖縄商工会議所、コ ザ商店街連合会 ・琉球ゴールデンキング ス、FC琉球、パナソニッ クパンサーズ、広島東洋 カープ ・市内観光関連施設)

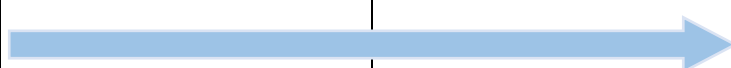
②観光関連産業の持続的な発展促進

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
② 1 観光業および周辺産業の誘致・人材育成	<p>・企業誘致推進事業</p> <p>国・県等関係機関と連携し、情報通信関連産業および観光関連産業を中心とした企業の誘致活動に取り組む。 宿泊施設の優遇措置が可能になるよう県と連携し、国へ要望する。</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p> 	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>
	<p>・観光基盤整備事業</p> <p>関係部署と連携し、観光関連産業に関するキャリア教育等に向け関係機関等と調整する。 本市の観光振興に関する方向性や観光危機管理・観光バリアフリーに関する普及啓発に向け、勉強会等を実施する。</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p> 	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>
② 1 2 市民の観光に関する理解	<p>・観光基盤整備事業</p> <p>観光関連施策の方向性となる観光振興基本計画について、市民に公表するとともに、県と連携し、観光統計に基づく観光産業による経済波及効果を示せるよう取り組みをすすめる。 また、観光産業の波及効果を高めるため、地域と連携し、統計データの利活用促進および市内の観光コンテンツの横断的な活用に向け取り組む</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p> 	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>

令和7年度	令和8年度	施策の目標			担当課 <関係者>
		項目	現状値	目標値	
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	市内事業所 数	5,275 事業 所	5,300 事業 所	企業誘致課 (沖縄県企業立地推進 課、内閣府沖縄総合事務 局経済産業部商務通商課 サービス産業係)
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	各種勉強会	3 回	3 回	観光スポーツ振興課 (コザホテル組合、コザ 商店街連合会、市内観光 関連事業者)
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	観光統計の 公表	未実施	実施	観光スポーツ振興課 (・沖縄県観光政策課 ・沖縄市経済文化部各課 ・市内観光関連施設の指 定管理者 ・沖縄市観光物産振興協 会、沖縄商工会議所、コ ザ商店街連合会 ・中部広域市町村圏事務 組合)
		観光統計調 査に関する 勉強会の開 催件数	3 回	3 回	



③周辺自治体との広域連携



	令和4年度	令和5年度	令和6年度
③ 1 観光における中部圏域の市町村との連携	<p>・観光宣伝事業</p> <p>歴史的・文化的背景を観光資源と捉え、ストーリー性を付加価値として活かした観光誘客を図るため、近隣市町村の観光関連部署および関係機関と連携した、観光コンテンツの造成に取り組む。</p> <p>また、クルーズ船受入れを見据えた受け入れ態勢の検討をすすめます。</p> <p>さらに、観光関連団体との連携により、各種メディアやWEB・SNSを活用したプロモーション等による県内外での観光PR活動を実施する。</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>




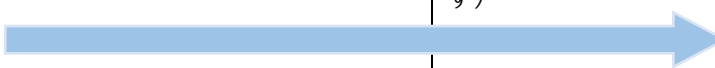

令和7年度	令和8年度	施策の目標			担当課 <関係者>
		項目	現状値	目標値	
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	近隣市町村 と連携して 策定した周 遊ルート	1	6	観光スポーツ振興課 (・経済文化部各課、プ ロジェクト推進室 ・市内観光関連施設の指 定管理者 ・沖縄市観光物産振興協 会、沖縄商工会議所、コ ザ商店街連合会 ・中部広域市町村圏事務 組合)
		クルーズ船 受入数(乗 客)	0	60,000人	

④観光環境の基盤整備

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
④ ー ー ハードとソフト両面の観光バリアフリー促進	<p>・観光基盤整備事業 心のバリアフリー制度について、観光関連事業者への普及啓発に向け、観光ポータルサイトや市HP等により周知するとともに、国と連携し、導入促進に向けた観光関連事業者への支援をおこなう。</p> <p>・観光宣伝事業 観光ポータルサイト等により、心のバリアフリー認定を受けた観光関連事業者のプロモーションをおこなう。</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p> 	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>
	<p>・理解促進啓発事業 ハートフル福祉フェア等において、障がい者の理解促進を図るとともに、障がい者への合理的配慮についても周知・啓発をおこなう。</p> <p>・基幹相談支援センターおよび障がい者自立支援協議会 障がい分野の地域のネットワークづくりを担う基幹相談支援センターおよび自立支援協議会において、観光バリアフリー促進への助言・提案や協議への参加をおこなう。</p> <p>・自発的活動支援事業(ピアサポート事業) 障がい当事者やその家族で構成する、ピアサポート事業において、観光バリアフリー促進への助言・提案や協議への参加をおこなう。</p>	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p> 	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>

令和7年度	令和8年度	施策の目標			担当課 <関係者>
		項目	現状値	目標値	
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます) 	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	心のバリア フリー認定 施設数	0	20	観光スポーツ振興課 (沖縄市観光物産振興協 会、コザ商店街連合会、 特定非営利活動法人バリ アフリーネットワーク会 議、沖縄市障がい福祉課)
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます) 	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しをお こないます)	心のバリア フリー認定 施設数	0	20	障がい福祉課 (基幹相談支援センタ ー、自立支援協議会、沖 縄市障がい者福祉協会、 沖縄市手をつなぐ育成 会、沖縄市精神療養者家 族会)

④観光環境の基盤整備

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
④ 1 2 公共交通・二次交通・交通結節の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通活性化推進事業 沖縄市循環バスの運行、利便性向上、利用促進に取り組むとともに沖縄市総合交通戦略の見直しに取り組む。また、池武当 IC および周辺道路の整備促進や基幹バスの導入に向けて取り組む。 ・国道330号沿線整備促進事業 交通結節点(胡屋地区)の整備に向けて、市の構想案の策定に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通活性化推進事業 沖縄市循環バスの運行、利便性向上、利用促進に取り組むとともに、池武当 IC および周辺道路の整備促進や基幹バスの導入に向けて取り組む。 ・国道330号沿線整備促進事業 交通結節点(胡屋地区)の整備促進に向けて取り組む。 	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p> 
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光基盤整備事業 関係機関等と観光型MaaSやシェアリングモビリティの導入に向け検討する。 	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p> 	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・中心商店街駐車場利用促進事業 中心市街地において、商店街地区にて一定の買い物・サービスを受けた来街者へ、民間駐車場の無料券の配布を支援することにより、商店街等への誘客を図るとともに、商店街周辺の変化に合わせた制度の整理、見直し等をおこなう。 ・中心市街地活性化調査検討業務 新たな沖縄市中心市街地活性化基本計画の策定業務。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中心商店街駐車場利用促進事業 商店街周辺の変化に合わせた制度の整理、見直し等をおこなう。 ・(仮称)沖縄市中心市街地活性化基本計画 新基本計画等に基づき、中心市街地における回遊性向上に向け取り組む。 	<p>継続して実施 (必要に応じて検証・見直しをおこないます)</p> 

令和7年度	令和8年度	施策の目標			担当課 <関係者>
		項目	現状値	目標値	
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しを おこないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しを おこないます)	公共交通分 担率	9.5% (H30)	13%	都市交通担当 (沖縄総合事務局、沖縄 県、周辺市町村、バス事 業者(琉球バス交通、沖 縄バス、東陽バス)、コザ 商店街連合会等、 経済文化部各課、 建設部各課)
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しを おこないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しを おこないます)	関係機関等 との検討会	未実施	実施	商工振興課 (沖縄市産業まつり実行 員会、沖縄市観光物産振 興協会、沖縄商工会議所)
継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しを おこないます)	継続して実施 (必要に応じて 検証・見直しを おこないます)	駐車場の利 便性向上に 関する勉強 会	0回	2回	商工振興課 (コザ商店街連合会)

1 各主体の役割分担

本計画は、本市が掲げる「世界にひらき活力あふれる国際文化観光都市」の実現に向けて、本市が有する観光資源を活かして、地域経済をけん引し、地域社会のさらなる発展をめざすこととしています。

本計画の推進において、本市や沖縄市観光物産振興協会はもとより、地域住民、観光関連事業者・団体および公共団体が連携して取り組むことが重要です。

○沖縄市の役割

庁内関係部署をはじめ、関係機関や事業者等と分野横断的な連携を図りながら、本計画の推進に取り組めます。

○沖縄市観光物産振興協会（地域DMO）の役割

本市の地域DMOである沖縄市観光物産振興協会には、本計画に掲げた施策の具体化に向けた取り組みや、地域の観光関連団体および観光関連事業者と連携して合意形成を図りつつ、中心的に事業を推進していくことが求められます。

具体的には、観光案内所および物産センターの運営、地域ブランド支援、ミスハイビスカスの選出・育成、国内外への観光プロモーション、エイサーを活用したコンテンツ造成、コザフィルムオフィス事業の推進、観光客受入体制および観光危機管理体制の整備、心のバリアフリーの推進、「稼ぐ」観光地づくりのためのマーケティングやマネジメントの実施、スポーツの産業化による地域活性化等になります。

○観光関連事業者・団体の役割

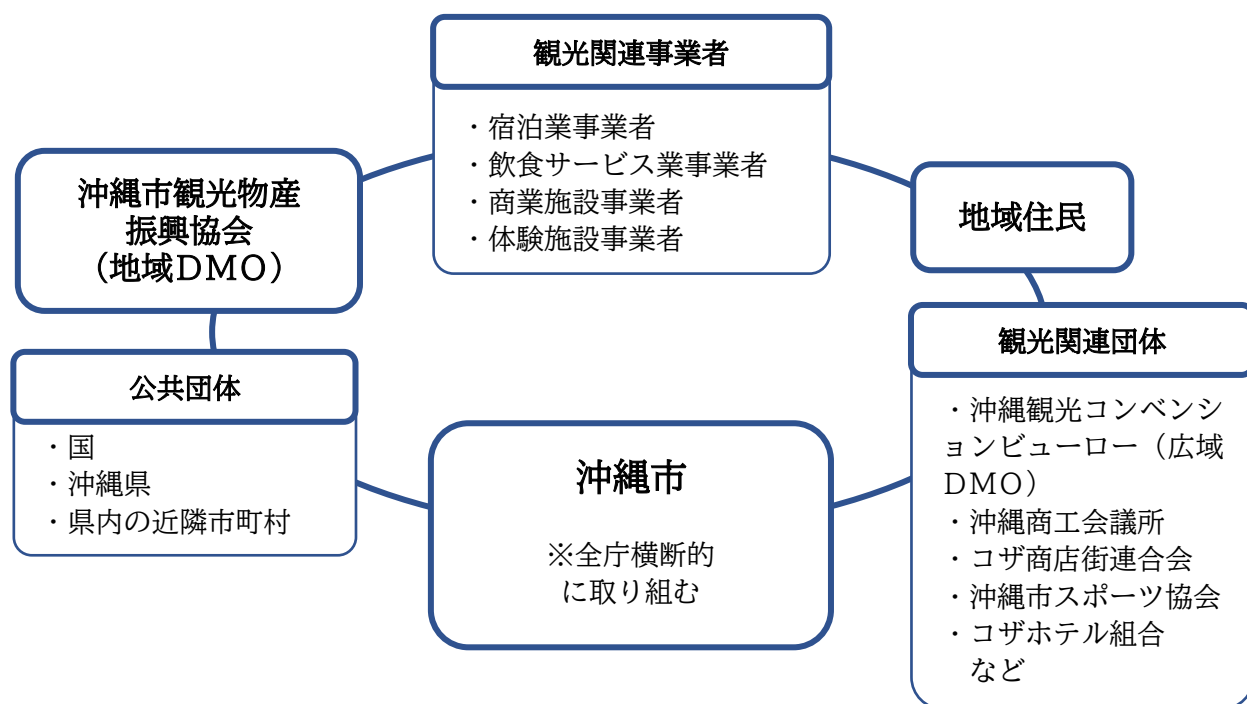
沖縄市、沖縄市観光物産振興協会、観光関連団体および地域住民と連携し、多様なツーリズムによる観光の振興に取り組むとともに、観光関連作業の生産性向上・競争力強化、雇用の安定化等を推進します。

○公共団体（国や県、近隣市町村）の役割

各公共団体間で連携した情報発信や受入環境の整備、プロモーションをおこなうなど、戦略的・広域的な観光誘客に取り組めます。

○地域住民の役割

持続可能な観光地づくりに向け、本市の魅力自ら体感し、地域への愛着や誇りを持ち、市内外に発信するとともに、その魅力の維持・発展に参画いただくとともに、観光客が安全・安心・快適に過ごせる観光地となるよう、観光客の受入やおもてなしの心づくりに努めます。



2 計画の推進体制

①分野横断的な連携の推進

本市の観光に関わる、交通や都市計画、商工、農林水産、文化芸能、環境、防災等の各行政分野の連携のもとで、観光施策の推進に取り組みます。

②沖縄市観光アドバイザリーボードの設置

市内および県内で観光振興に関わるスポーツツーリズムや特色ある文化・資源を活かす誘客の取り組み、新たな施設やインフラ、交通システムの整備、観光DXの取り組み、観光マネジメントや人材育成など、様々な取り組みについて関係者間で共有し、協議をおこなうことができる場を設定します。

計画策定経緯

会議等	開催日	内容
第1回 沖縄市観光振興委員会	令和3年 9月10日	【議題】 委員就任について 沖縄市観光振興基本計画について
第1回 (仮称)第2次沖縄市 観光振興基本計画 ワーキンググループ	令和3年 10月18日	【説明・グループセッション】 沖縄市の観光の現状 5年後の目指すべき姿、観光の在り方、 目標、方針
第2回 (仮称)第2次沖縄市 観光振興基本計画 ワーキンググループ	令和3年 11月8日	【報告】 現行計画について 【報告】 第1回ワーキンググループの振り返り 【意見交換】 施策体系案について 施策体系案の具体内容について
個別ヒアリング	令和3年 11月8日～ 12月28日	【意見交換】 関係事業者・団体を取り巻く観光の現状 第2次沖縄市観光振興基本計画の施策案について
第1回 第2次沖縄市観光振興 基本計画策定委員会	令和3年 12月28日	【議題】 第2次沖縄市観光振興基本計画の策定について (1)本市を取り巻く観光に関する現状について (2)第2次沖縄市観光振興基本計画の素案について
第2回 第2次沖縄市観光振興 基本計画策定委員会	令和4年 1月13日	【議題】 第2次沖縄市観光振興基本計画の策定について (1)第2次沖縄市観光振興基本計画の素案について (2)ロードマップについて
第2回 沖縄市観光振興委員会	令和4年 1月17日	【諮問】 桑江市長より沖縄市観光振興委員会島田委員長へ 諮問書を手交 【議題】 第2次沖縄市観光振興計画の素案について
第3回 沖縄市観光振興委員会	令和4年 2月10日	【議題】 答申(案)について 第2次沖縄市観光振興基本計画(案)について
第3回 第2次沖縄市観光振興 基本計画策定委員会	令和4年 2月15日	【議題】 第2次沖縄市観光振興基本計画の素案について
パブリックコメントの 実施	令和4年 2月15日～ 3月18日	第2次沖縄市観光振興基本計画(案)について
第4回 第2次沖縄市観光振興 基本計画策定委員会		【議題】 沖縄市観光振興基本計画の素案について パブリックコメントの実施結果について(報告)

令和4年2月10日

沖縄市長 桑 江 朝千夫 様

沖縄市観光振興委員会
委員長 島 田 勝 也

第2次沖縄市観光振興基本計画（素案）の答申について

令和4年1月17日付け、沖市観ス第117001号において沖縄市観光振興委員会へ諮問がございました第2次沖縄市観光振興基本計画（素案）について、慎重に審議した結果を答申します。

なお、以下のとおり沖縄市観光振興委員会の提言を付するほか、別添に提案事項をまとめておりますので、この基本計画の推進にあたっては、本委員会の意を十分に尊重され、今後、沖縄市の観光振興に努められるよう要望します。

提言

- 本市の観光振興について、市民の理解・賛同のもと、参画して頂くなど、地域と一体となって推進されたい
- 観光資源を存分に生かし、市内への宿泊者数増加を図る、滞在型観光を官民連携により推進されたい。
- 沖縄アリーナについて、地域や関係団体等との連携により、経済波及効果拡大を図る取り組みを推進されたい。
- 恵まれたスポーツ環境を生かし、プロスポーツ・アマチュアスポーツのキャンプや合宿の誘致を図るなど、スポーツコンベンションシティを推進されたい。

- これまで、本市で培われてきたエイサーをはじめとした文化や街並みなどを生かした観光振興を推進されたい。
- 沖縄こどもの国の魅力向上により、さらなる誘客拡大に向け取り組まれたい。
- 観光統計データやICTを活用し、戦略的かつ効果的な観光振興を推進されたい。
- 快適な観光地づくりに向け、観光関連事業者と連携し、観光バリアフリーを推進されたい。
- 市内のアクセス性・周遊性の向上に向け、観光型MaaSの導入や二次交通の充実を図られたい。
- 第2次沖縄市観光振興計画（素案）の計画期間である5年間（令和4年度～令和8年度）を超えて、時代潮流等を見据えた取り組みを推進されたい。

沖縄市観光振興委員会

設置規程

○沖縄市観光振興委員会設置規程

(昭和50年6月13日訓令第9号)

改正 平成12年3月31日訓令第20号 平成15年3月19日訓令第1号
平成25年3月29日訓令第3号 平成29年1月24日訓令第1号
令和3年3月31日訓令第3号

(目的)

第1条 沖縄市の観光振興に寄与すると共に、観光行政に反映させるため観光振興委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(担当事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を調査審議する。

- (1) 観光振興計画に関すること。
- (2) 観光振興に係る重要事項に関すること。
- (3) その他市長が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員若干名で組織する。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の中から互選する。
- 3 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱又は任命する。

- (1) 学識経験者
- (2) 各種団体の関係者
- (3) 市職員
- (4) その他市長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。

- 2 委員は、再任されることができる。
- 3 委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 役職で委員に委嘱された委員の任期は、同役職任期中とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員長は、委員会を代表し、会務を掌理する。

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は、委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が必要に応じて招集し、委員長が議長となる。

- 2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員会において必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(部会)

第7条 委員長は、専門的立場から意見を具申させるため、委員会に専門部会を置くことができる。

(報酬等)

第8条 委員会の報酬等は、沖縄市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(昭和49年沖縄市条例第25号)を適用する。

(事務局)

第9条 委員会の庶務は、経済文化部観光スポーツ振興課において処理する。

(委任)

第10条 この規程に定めるもののほか、必要な事項については、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この規程は、公布の日から施行し、昭和50年4月1日から適用する。

附 則(平成12年3月31日訓令第20号)

この訓令は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成15年3月19日訓令第1号)

この訓令は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成25年3月29日訓令第3号)

この訓令は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成29年1月24日訓令第1号)

この訓令は、公布の日から施行する。

附 則(令和3年3月31日訓令第3号)

この訓令は、令和3年4月1日から施行する。

委員会委員

No.	氏名	所属
1	島田 勝也 委員長	沖縄大学 特別研究員
2	新崎 好子 委員	沖縄市コザホテル組合 組合長 (クラウンホテル社長)
3	金城 孝 委員	一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー 誘客事業部長
4	島袋 隆 副委員長	一般社団法人 沖縄市観光物産振興協会 会長
5	親川 修 委員	NPO 法人バリアフリーネットワーク会議 代表
6	林 百希 委員	グランメールリゾートホテル 総支配人代行
7	慶田花 英太 委員	沖縄国際大学 産業情報学部 講師
8	大谷 健太郎 委員	名桜大学 国際学群 教授
9	花城 博文 副委員長	沖縄市 経済文化部長
10	宮里 善伸 委員	沖縄市 企画部長
11	山内 強 委員	沖縄市 企画部参事

策定委員会

設置要綱

(仮称) 第2次沖縄市観光振興基本計画策定委員会設置要綱

(令和3年9月24日決裁)

(目的)

第1条 この要綱は、本市の地域資源等を活用した効果的な観光振興に向けた「(仮称)第2次沖縄市観光振興基本計画」(以下、「計画」という。)を策定するため、(仮称)第2次沖縄市観光振興基本計画策定委員会(以下、「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、計画の策定に向けて、次に掲げる事項の検討を行う。

- (1) 計画の基本的な方針に関すること。
- (2) 計画案の策定に関すること。
- (3) その他計画に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、別表1に掲げる委員をもって組織する。

- 2 委員長に沖縄市副市長、副委員長に経済文化部長をもって充てる。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を統括する。
- 4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は、委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(任期)

第4条 委員の任期は、第2条に規定する計画の策定をもって終了する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が必要に応じて招集し、委員長が議長となる。

- 2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員会において必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(事務局)

第6条 委員会の事務局は、経済文化部観光スポーツ振興課におく。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項については、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、令和3年9月24日から施行する。

この要綱は、計画の策定をもって失効する。

別表1 (第3条関係)

委員長	沖縄市 副市長
副委員長	経済文化部長
委員	総務部長
委員	企画部長
委員	企画部参事
委員	健康福祉部長
委員	建設部長
委員	建設部参事
委員	教育部長

ワーキンググループ

設置要綱

(仮称) 第2次沖縄市観光振興基本計画ワーキンググループ設置要綱

(令和3年9月24日決裁)

(目的及び設置)

第1条 (仮称) 第2次沖縄市観光振興基本計画(以下「計画」という。)の策定にあたり、関係者の意見を反映させ、効果的な観光振興を図るため、必要な事項を検討する(仮称) 第2次沖縄市観光振興基本計画ワーキンググループ(以下「ワーキンググループ」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 ワーキンググループの所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 観光の現状や課題に関すること
- (2) 観光の在り方や目標、方針に関すること
- (3) 施策のロードマップや役割分担に関すること
- (4) その他必要な事項

(ワーキンググループの構成)

第3条 ワーキンググループの構成員は次のとおりとする。

- (1) 市内関連団体・事業者の関係者
- (2) その他市長が必要と認める者

(任期等)

第4条 委員の任期は、ワーキンググループの活動期間終了までとする。

(庶務)

第5条 ワーキンググループの庶務は、経済文化部観光スポーツ振興課において処理する。

附 則

この要綱は、令和3年9月24日から施行する。

この要綱は、計画の策定をもって失効する。

ワーキンググループ委員

No.	氏名	所属
1	比嘉 正也 氏	沖縄商工会議所 中小企業支援部 部長代理
2	親川 雅也 氏	コザ商店街連合会 事務局長
3	新崎 好子 氏	沖縄市コザホテル組合 組合長 (クラウンホテル社長)
4	當山 康司 氏	沖縄市料理飲食業組合 組合長
5	林 百希 氏	グランメールリゾートホテル 総支配人代行
6	屋比久 功 氏	公益財団法人沖縄こどもの国
7	宮里 高明 氏	株式会社東南植物楽園 園長
8	安永 淳一 氏	沖縄バスケットボール株式会社 取締役
9	野原 輝人 氏	琉球フットボールクラブ株式会社
10	比嘉 大志 氏	まちづくり NPO コザまち社中 事務局長
11	広瀬 陽 氏	コザ商店街連合会
12	神山 繁 氏	株式会社ファンファーレ・ジャパン 取締役
13	平良 勇人 氏	株式会社プラザハウス 専務取締役
14	金城 諭 氏	沖縄市観光物産振興協会 事務局長
15	當山 勝正 氏	おきなわスポーツイノベーション協会株式会社 総支配人
16	野田 隆司 氏	株式会社クランク 取締役
17	伊波 祐 氏	沖縄市漁業協同組合 参事
18	顧 立德 氏	沖縄市国際交流協会 副会長
19	野中 光 氏	コザインターナショナルプラザ (KIP)
20	親川 修 氏	NPO 法人バリアフリーネットワーク会議 代表
21	小浜 千代子 氏	沖縄市社交飲食業組合 組合長
22	池間 孝典 氏	知花花織事業協同組合 専務理事
23	喜友名 大輔 氏	中部ファーマーズマーケットちゃんぷる一市場 店長
24	小浜 守作 氏	中部広域市町村圏事務組合
25	喜瀬 涼子 氏	一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー 誘客事業部国内プロモーション課長
26	大城 美弥子 氏	沖縄ラジオ株式会社 代表取締役
27	豊里 健一郎 氏	Startup Lab Lagoon 代表
28	宮島 真一 氏	ちゃんぷる～沖縄市大使
29	大谷 健太郎 氏	名桜大学 国際学群 教授
30	仲宗根 工 氏	うりずんファーム

沖縄市観光振興基本計画

令和4年3月

沖縄市 経済文化部 観光スポーツ振興課

〒904-8501 沖縄県沖縄市仲宗根町 26 番 1 号

TEL 098-923-3475